

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<p>(省略)</p> <p>第1 中期計画の期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間とする。</p> <p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供 各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地域の中核的な総合病院として、引き続き救急医療を提供するほか、高齢化の著しい進展に対応し、県内の総合診療科の取組みをけん引している強みを生かし、地域ニーズに沿った医療の提供を充実させる。 ・ 内視鏡や人工関節といった専門的分野のセンター化など、医療ニーズが高い部門の強化を図る。 	<p>第1 計画の期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間とする。</p> <p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供 各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院 【地域ニーズに沿った医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防本部と連携を強化しながら、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。 ・ 高齢化の著しい進展に対応し、複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療、生活機能障害に対するケアなどの総合診療に積極的に取り組むとともに、<u>新専門医制度における基幹施設（病院）</u>として総合診療医等の育成に引き続き努めていく。 ・ 地域の医療ニーズが高く、<u>病院</u>の強みを活かせる部門として、内視鏡センター<u>及び</u>人工関節センターを立ち上げ周知する。 ・ 骨粗しょう症やサルコペニアが進行し、関節疾患や大腿骨近位部を骨折する高齢患者が増加していることから、日常生活で必要な 	<p>第1 計画の期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間とする。</p> <p>第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 質の高い医療の提供 各病院に求められる、高度・専門医療の提供や地域医療の支援等の役割を果たすため、次のとおり、医療の提供や機能の充実強化に取り組む。</p> <p>(1) 足柄上病院 【地域ニーズに沿った医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防本部と連携を強化しながら、救急患者を積極的に受け入れ、断らない救急に努める。 ・ 高齢化の著しい進展に対応し、複数疾患が併存する患者に対する包括的な診断・治療、生活機能障害に対するケアなどの総合診療に、<u>積極的に取り組むとともに、研修機関施設</u>として総合診療医の育成に引き続き努めていく。 ・ 地域の医療ニーズが高く、<u>当院</u>の強みを活かせる部門として、内視鏡センター、<u>人工関節センター</u>を立ち上げ周知する。 ・ 骨粗しょう症やサルコペニアが進行し、関節疾患や大腿骨近位部を骨折する高齢患者が増加していることから、日常生活で必要な

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産科医療や小児科医療について、小田原市立病院と連携しながら、地域のニーズを踏まえた医療等を提供する。 ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として専門的な感染症医療や、新型インフルエンザ等の新たな感染症に対する医療を適切に提供する。 ・ 災害拠点病院及び神奈川DMA T指定病院としての体制を充実強化する。 ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 ・ 地域包括ケアシステムの推進を支援するた 	<p>運動機能や認知機能を維持するため、ロコモ、フレイルを改善する治療を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内助産を継続するとともに、異常分べん等への<u>対応</u>や妊婦健診など<u>について</u>、小田原市立病院と連携し<u>ながら</u>、分べん機能の維持に努める。 ・ 経験豊富な助産師による産後ケア「すくすく」などを通じて、地域の母子に対<u>する</u>心身のケアや育児サポート等を提供する。 <p>【感染医療・災害医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行う。 ・ <u>県西二次保健医療圏</u>における災害拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。 ・ 神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。 <p>【医療従事者の研修受入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、看護師、薬剤師及び管理栄養士など、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 <p>【地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟で症状が安定した患者が、退院後 	<p>運動機能や認知機能を維持するため、ロコモ、フレイルを改善する治療を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内助産を継続するとともに、異常分べん等への<u>医療支援</u>や妊婦健診など、小田原市立病院と<u>の連携を強化</u>し、分べん機能の維持に努める。 ・ 経験豊富な助産師による産後ケア「すくすく」などを通じて、地域の母子に対<u>し</u>心身のケアや育児サポート等<u>の支援</u>を提供する。 <p>【感染医療・災害医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二種感染症指定医療機関及びエイズ治療拠点病院として、新型インフルエンザやエイズ等の感染症患者の受入れを行う。 ・ <u>県西地域医療圏</u>における災害<u>医療</u>拠点病院として、災害時を想定した患者の受入訓練等を実施する。 ・ 神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。 <p>【医療従事者の研修受け入れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修指定病院として、医師の研修受入れを実施するとともに、看護師、薬剤師及び管理栄養士など、他の医療従事者の研修受入れを積極的に実施し、地域の医療従事者の確保につなげる。 <p>【地域包括ケアシステムの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般病棟で症状が安定した患者が、退院後

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
め、地域医療支援病院の承認を目指すとともに、地域の医療機関や在宅療養を支援する機関との連携を強化する。			に自宅で療養生活を続けられるよう、地域包括ケア病棟で、リハビリや退院に向けたサポートを提供する。			に自宅で療養生活を続けられるよう、地域包括ケア病棟で、リハビリや退院に向けたサポートに取り組む。		
・ 地域包括ケアシステムを推進し、地域医療の充実を図るため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状急変時に 24 時間対応できるよう、受入体制を整えるとともに、新たに地域医療支援病院の承認を目指す。			・ 地域包括ケアシステムを推進し、地域医療の充実を図るため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状急変時に 24 時間対応できるよう、受入体制を整えるととともに、新たに地域医療支援病院の承認を目指す。			・ 地域包括ケアシステムを推進するため、在宅療養後方支援病院として、在宅療養患者の病状が急変した際に 24 時間対応できるよう、受入れ体制を整えるととともに、新たに地域医療支援病院の承認を目指し、地域医療の充実を図る。		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
手術件数（手術室で実施）	1,804 件	1,850 件	手術件数（手術室で実施）	1,804 件	1,804 件	手術件数（手術室で実施）	1,804 件	1,804 件
救急受入率	93.4%	95.0%	うち手術件数（全身麻酔）	1,232 件	1,232 件	うち手術件数（全身麻酔）	1,232 件	1,232 件
救急車による救急受入件数	3,496 件	3,400 件	救急受入率	93.4%	93.0%	救急受入率	93.4%	93.0%
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	4,202 件	5,000 件	救急車による救急受入件数	3,496 件	3,200 件	救急車による救急受入件数	3,496 件	3,200 件
内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	1,404 件	1,500 件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	4,202 件	4,600 件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡検査件数）	4,202 件	4,600 件
人工関節センター実施件数 （関節症（膝・股）人工	76 件	130 件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	1,404 件	1,400 件	内視鏡センター実施件数 （消化器内視鏡治療件数）	1,404 件	1,400 件
			人工関節センター実施	76 件	98 件	人工関節センター実施	76 件	98 件

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
関節置換術件数)			件数 (関節症(膝・股)人工 関節置換術件数)			件数 (関節症(膝・股)人工 関節置換術件数)		
急性期病棟における在 宅復帰率	92.6%	92.0%	急性期病棟における在 宅復帰率	92.6%	92.0%	急性期病棟における在 宅復帰率	92.6%	92.0%
地域包括ケア病棟にお ける在宅復帰率	78.3%	79.0%	地域包括ケア病棟にお ける在宅復帰率	78.3%	79.0%	地域包括ケア病棟にお ける在宅復帰率	78.3%	79.0%
軽症在宅加療パスを利用 した患者数(累計)	72 人	250 人	軽症在宅加療パスを利用 した患者数(累計)	72 人	130 人	軽症在宅加療パスを利用 した患者数(累計)	72 人	130 人
<p>(2) こども医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内唯一の小児専門総合病院として、小児の心疾患や先天性異常などに対する手術や難治性疾患等に対する高度・専門医療を実施する。 国内でも有数の、福祉施設を併設した小児専門総合病院として、福祉施設によるレスパイトケア等を含め、医療的ケアの必要な患者を積極的に受け入れる。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療に取り組むとともに、AYA世代のがん患者に対しても、がんセンターや小児がん連携病院等と連携を図りながら、適切に医療や支援を行う。 			<p>(2) こども医療センター 【小児専門医療・救急医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門総合病院として、難易度の高い手術や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療を積極的に実施する。 レスパイトケアの推進など、社会ニーズや障害児支援施策の変化に対応した福祉施設の運営を図る。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療を提供するとともに、栄養支援やリハビリテーション支援を実施する。また、晩期合併症の早期発見や対応、自立支援を目的とした長期的なフォローアップに努める。 AYA世代のがん患者に対する入院療養環境や相談窓口の充実を行うとともに、各種研修会やイベントを開催し、<u>医療従事者の資質向上及び県民への普及啓発を図る。</u> 			<p>(2) こども医療センター 【小児専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児専門総合病院として、難易度の高い手術の実施や難治性疾患、希少疾患等に対する高度・専門医療を積極的に実施する。 レスパイトケアの推進など、社会的ニーズの変化と障害児支援施策の変化に対応した福祉施設の運営を図る。 小児がん拠点病院として、先進的な集学的治療のほか、栄養やリハビリテーション支援を実施する。また、晩期合併症の早期発見や対応、自立支援を目的とした長期的なフォローアップに努める。 AYA世代のがん患者に対する入院療養環境や相談窓口の充実を行うとともに、各種研修会やイベントを開催し、<u>県民への普及啓発及び医療従事者の資質向上を図る。</u> 		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<ul style="list-style-type: none"> 高度な特殊・専門医療が必要な小児三次救急を実施するとともに、総合周産期母子医療センターとして、積極的に重症患者を受け入れる。 アレルギー疾患医療拠点病院として、アレルギーセンターを設置するなど、地域の医療機関と連携し、難病や希少疾患等の診療や情報提供、人材育成等を実施する。また、専門的な判断が求められる児童虐待の早期発見や対応については、地域の医療機関や行政機関等と連携し、役割を担っていく。 小児の総合的な緩和ケアを推進するとともに、医療的ケアの必要な患者の退院在宅支援 	<ul style="list-style-type: none"> 発達状況の評価を継続的に行い、障害の早期発見に努め、必要に応じてリハビリテーションの導入や保護者の支援を行う。また、県立総合療育相談センターや各市町村の療育を支援する機関等と連携し、地域での療育が受けられるよう努める。 県内 21 箇所の救命救急センターと連携した小児三次救急を実施する。 令和元年度に増床や人員増を伴う体制強化を行ったNICU及びGCUを活用し、低出生体重児、極低出生体重児、先天性疾患などの重症患者を積極的に受け入れるとともに、ファミリーセンタードケアを推進する。 <u>アレルギーセンターにおいて</u>、重症及び難治性アレルギー疾患患者に対して患者の特性に合った最適な治療を提供する。また、地域の医療機関や行政機関等と連携を強化し、情報提供、人材育成、研究、学校への助言等を実施する。 児童虐待の早期発見や対応に向け、虐待医療ネットワーク会議への参加や児童相談所への虐待通告事例を検討する会議を開催するなど、地域や行政機関との連携を強化する。 <p>【緩和ケア・相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の総合的な緩和ケアを推進するとともに、医療的ケアの必要な患者の退院在宅支援 	<ul style="list-style-type: none"> 発達状況の評価を継続的に行い、障害の早期発見に努め、必要に応じてリハビリテーションの導入や保護者の支援を行う。また、県立総合療育相談センターや各市町村の地域療育機関等と連携し、地域での療育が受けられるよう努める。 <p>【小児救急医療等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内 21 箇所の救命救急センターと連携した小児三次救急を実施する。 令和元年度に増床し、人員体制や医療環境などの周産期医療体制を改善・強化したNICU及びGCUを活用し、低出生体重児、極低出生体重児、先天性疾患などの重症患者を積極的に受け入れ、ファミリーセンタードケアを推進する。 <p>【地域医療機関等との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症及び難治性アレルギー疾患患者に対してアレルギー科の医師が一貫して対応を行うことで、患者の特性に合った最適な治療を目指す。また、地域の医療機関や行政機関等と連携を強化し、情報提供、人材育成、研究、学校等への助言を実施する。 児童虐待の早期発見や対応に向け、虐待医療ネットワーク会議への参加や児童相談所における虐待通告の事例検討会議を開催するなど、地域や行政機関との連携を強化する。 <p>【緩和ケア・相談支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の総合的な緩和ケアを推進するとともに、医療的ケアの必要な患者の退院在宅支援

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）			令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点		
<p>を円滑に行うため、入退院支援体制の整備を行う。また、研修の実施などを通じ、地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上への支援を行うとともに、連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人移行期医療については、成長に伴い変化する患者ニーズに対応するため、成人移行期外来において、自立支援や成人期の医療機関との連携を行う。 			<p>を円滑に行うため、入退院支援体制の整備を行う。また、研修の実施などを通じ、地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上への支援を行うとともに、連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人移行期医療については、令和元年11月に設置した「みらい支援外来」において、多職種が連携して診療相談を行い、円滑な成人移行にむけた自立支援や成人<u>期</u>の医療機関との連携を図る。 			<p>を円滑に行うため、入退院支援体制の整備を行う。また、研修の実施などを通じ、地域の医療機関等の医療ケアスキルの向上への支援を行うとともに、連携を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成人移行期医療については、令和元年11月に設置した「みらい支援外来」において、多職種が連携して診療相談を行い、円滑な成人移行にむけた自立支援や成人医療機関との連携を図る。 		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成30年度実績値	令和6年度目標値	区分	平成30年度実績値	令和2年度目標値	区分	平成30年度実績値	令和2年度目標値
手術件数（手術室で実施）	3,572件	3,800件	手術件数（手術室で実施）	3,572件	3,800件	手術件数（手術室で実施）	3,572件	3,800件
救急車による救急受入件数	489件	500件	うち手術件数（全身麻酔）	3,141件	3,340件	うち手術件数（全身麻酔）	3,141件	3,340件
N I C U新規入院患者数	307人	430人	うち手術件数（造血幹細胞移植）	30件	30件	うち手術件数（造血幹細胞移植）	30件	30件
M F I C U新規入院患者数	78人	150人	救急車による救急受入件数	489件	500件	救急車による救急受入件数	489件	500件
G C U入院実患者数	267人	390人	N I C U新規入院患者数	307人	430人	N I C U新規入院患者数	307人	430人
小児がん患者新規入院患者数	81人	95人	M F I C U新規入院患者数	78人	130人	M F I C U新規入院患者数	78人	130人
緩和ケア実施件数	52件	80件	G C U入院実患者数	267人	370人	G C U入院実患者数	267人	370人
リハビリテーション件数	23,315件	24,200件	小児がん患者新規入院患者数	81人	95人	小児がん患者新規入院患者数	81人	95人
			緩和ケア実施件数	52件	55件	緩和ケア実施件数	52件	55件

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
<p>（3）精神医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の精神科中核病院として、思春期医療のほか、ストレスケア医療、依存症医療、医療観察法医療等の高度・専門医療の提供を行う。 精神科 24 時間救急の基幹病院として、精神科救急・急性期医療を実施する。 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、訪問看護などを行うことで、患者の地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進める。 依存症治療拠点機関として、依存症に関する取組みの情報発信や医療機関を対象とした研修を実施する等、県内の依存症医療の強化を図っていく。 	リハビリテーション件数	23,315 件	24,200 件	リハビリテーション件数	23,315 件	24,200 件
	<p>（3）精神医療センター 【精神科専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童相談所やこども医療センター等との連携を強化し、<u>中高生世代</u>の患者を積極的に受け入れる。 反復経頭蓋磁気刺激法（r-TMS）等により、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。 依存症治療拠点機関として、依存症に関する取組みの情報発信や研修等<u>の</u>普及啓発活動<u>など</u>を実施し、県内の依存症医療の強化を図っていく。また、アルコール・薬物・ギャンブル依存症の患者に対して集団治療プログラムを実施するほか、依存症診療科と思春期診療科が連携し、ゲーム依存症の治療を推進していく。 <u>心神喪失者等</u>医療観察法の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った入院<u>医療</u>及び外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院<u>医療</u>を一貫して実施する。 特定の医療機関でしか実施できないクロザ 			<p>（3）精神医療センター 【精神科専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童相談所やこども医療センター等との連携を強化し、<u>中学生・高校生年代</u>の患者を積極的に受け入れる。 反復経頭蓋磁気刺激法（r-TMS）等により、うつ病等の精神疾患患者を対象としたストレスケア医療に取り組む。 依存症治療拠点機関として、依存症に関する取組みの情報発信や研修等普及啓発活動を実施<u>する等</u>、県内の依存症医療の強化を図っていく。また、アルコール・薬物・ギャンブル依存症の患者に対して集団治療プログラムを実施するほか、依存症診療科と思春期診療科が連携し、ゲーム依存症の治療を推進していく。 医療観察法<u>医療</u>の指定医療機関として、国と連携して患者を受け入れ、多職種チームによる専門治療プログラムに沿った<u>医療を医療観察法病棟における</u>入院及び外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院<u>の場</u>で一貫して実施する。 特定の医療機関でしか実施できないクロザ 		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
			<p>ピン治療を継続するなど難治患者に対して、高度な精神科医療を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市の認知症早期発見モデル事業に参画するなど、認知症の早期発見に資する「もの忘れ外来」における鑑別診断を推進するほか、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」の普及を図っていく。 <p>【精神科救急医療・災害医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の精神科救急医療システムの基幹病院として、県精神保健福祉センターや 4 県市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる。 災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。 <p>【地域の医療機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、患者の逆紹介を推進し、訪問看護などを行うことで、地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進める。 			<p>ピン治療を継続するなど難治患者に対して、高度な医療を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市の認知症早期発見モデル事業に参画するなど認知症の早期発見に資する「もの忘れ外来」における鑑別診断を推進するほか、認知症予防運動プログラム「コグニサイズ」の普及を図っていく。 <p>【精神科救急医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の精神科救急医療システムの基幹病院として、神奈川県精神保健福祉センターや 4 県市主管課等と密接に連携し、措置入院患者等を積極的に受け入れる。 <p>【地域医療機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関や福祉施設、行政機関等との連携・機能分担の強化に加え、患者の逆紹介を推進し、訪問看護などを行うことで、地域移行や社会復帰に向けた取組みを積極的に進める。 		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
依存症集団治療プログラム延患者数	1,923 人	2,000 人	依存症集団治療プログラム延患者数	1,923 人	2,000 人	依存症集団治療プログラム延患者数	1,923 人	2,000 人
依存症に関する研修等普及啓発活動実施回数	55 回	60 回	依存症に関する研修等普及啓発活動実施回数	55 回	56 回	依存症に関する研修等普及啓発活動実施回数	55 回	56 回

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
クロザピンによる治療患者数	79 人	150 人	クロザピンによる治療患者数	79 人	100 人	クロザピンによる治療患者数	79 人	100 人
r-TMS による治療患者数	— 人	20 人	r-TMS による治療患者数	— 人	8 人	r-TMS による治療患者数	— 人	8 人
救急病棟入院延患者数	23,660 人	23,700 人	救急病棟入院延患者数	23,660 人	23,600 人	救急病棟入院延患者数	23,660 人	23,600 人
訪問看護件数	2,440 件	2,700 件	訪問看護件数	2,440 件	2,500 件	訪問看護件数	2,440 件	2,500 件
退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合	13.9%	10.0%	退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合	13.9%	12.7%	退院後 3 か月以内に再入院した患者の割合	13.9%	12.7%
<p>（４）がんセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県がん診療連携拠点病院として、手術療法、放射線療法及び免疫療法を含むがん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療の質の向上に努め、治療実施件数の増加を図るとともに、医師等を対象とした研修の実施や協議会設置など、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、より高度な医療を提供するため、特定機能病院の承認を目指す。 がんゲノム医療拠点病院として、県内のがん診療連携拠点病院等との連携体制を構築することにより、より多くのがん患者が遺伝子パネル検査を受けることを可能にし、その結果に基づいて治療（治験等）につながる機会を提供する。 重粒子線治療の診療体制を充実強化し、治療件数を増加させるとともに、臨床研究所をはじめとした複数の部門や他の重粒子線治療 			<p>（４）がんセンター</p> <p>【がん専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線治療、免疫療法を含むがん薬物療法、<u>緩和ケアなど</u>による集学的ながん医療を推進する。 <u>医師等を対象とした研修の実施や協議会の開催など</u>、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、特定機能病院の承認に向けて、関係医療機関からの情報収集や内部調整に取り組む。 がんゲノム医療拠点病院として、県内の複数のがんゲノム医療連携病院が参加するエキスパートパネル（EP）を<u>週 1 回</u>開催し、遺伝子パネル検査の結果について検討を行う。 人員体制の強化、地域の医療機関及び県民への広報の推進、医療インバウンドの取組みなどにより、<u>重粒子線治療</u>の治療件数を増加 			<p>（４）がんセンター</p> <p>【がん専門医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術、放射線治療及び免疫療法を含むがん薬物療法や緩和ケアによる集学的ながん医療を推進する<u>とともに</u>、医師等を対象とした研修の実施や協議会設置など、県内の医療機関との機能分担や連携・協働を行う。また、特定機能病院の承認に向けて、関係医療機関からの情報収集や内部調整に取り組む。 がんゲノム医療の拠点病院として、県内の複数のがんゲノム医療連携病院と<u>週 1 回</u>エキスパートパネル（EP）を開催し、遺伝子パネル検査の結果について検討を行う。 <u>重粒子線治療の人員体制を強化し</u>、地域医療機関及び県民への広報を<u>積極的に進めるとともに</u>、医療インバウンドの取組みなどによ 		

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点																		
<p>施設と協働し、新たな治療方法の開発を推進する。また、重粒子線治療装置を活用し、医療分野における国際交流や国際貢献に寄与する観点から医療インバウンド等に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者のADLやQOLの向上及び早期社会復帰を支援するため、リハビリテーション部門の積極的な介入や専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。また、がんとの共生を支えるため、アピアランスケアや就労支援などの多様な相談への対応に取り組む。 小児がん患者のフォローアップやAYA世代がん患者特有の相談等の患者支援を行う。 高齢のがん患者、合併症を有するがん患者への対応として、循環器疾患や透析への対応ができる他の医療機関との連携体制の整備を検討する。 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録及び院内がん登録を着実に実施する。 <p>【目標値】</p>	<p>させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療と免疫治療との併用療法を開発するため、診療部門と臨床研究部門が連携して重粒子線治療の免疫学的影響を解明する臨床研究を継続する。 <p>【相談支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅ケアや訪問リハビリテーション担当者との連携を強化しながらリハビリテーション部門が積極的に介入するとともに、専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。 患者会の運営支援、アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談、就労支援等について、社会保険労務士やハローワーク、臨床心理士等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。 小児がん患者のフォローアップ、AYA世代等の妊孕性温存に関する情報提供、意思決定支援に関する相談支援などの充実を図る。 <p>【高齢のがん患者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者に見られる身体機能低下や認知機能低下等を客観的に評価する体制を整備する。 <p>【がん登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録及び院内がん登録を着実に実施する。 <p>【目標値】</p>	<p>り、治療件数を増加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重粒子線治療と免疫治療との併用療法を開発するため、臨床研究所と連携して重粒子線治療の免疫学的影響を解明する臨床研究を継続する。 <p>【相談支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の在宅ケア、訪問リハビリテーション担当者との連携を強化しながらリハビリテーション部門が積極的に介入するとともに、専門的な緩和ケア、漢方薬などの支持療法の提供を行う。 患者会の運営支援、アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談、就労支援等について、社会保険労務士やハローワーク、臨床心理士等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。 小児がん患者のフォローアップやAYA世代等の妊孕性温存に関する情報提供や意思決定支援に関する相談支援の充実を図る。 <p>【高齢のがん患者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢がん患者に見られる身体機能低下や認知機能低下等を客観的に評価する体制を整備する。 <p>【がん登録】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国や県のがん対策に資するため、全国がん登録及び院内がん登録を着実に実施する。 <p>【目標値】</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30</th> <th>令和6年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30	令和6年				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30	令和2年				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成30</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30	令和2年			
区分	平成30	令和6年																		
区分	平成30	令和2年																		
区分	平成30	令和2年																		

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）			令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点		
	年度実績 値	度目標値		年度実績 値	度目標値		年度実績 値	度目標値
手術件数（手術室で実施）	3,365 件	3,900 件	手術件数（手術室で実施）	3,365 件	3,900 件	手術件数（手術室で実施）	3,365 件	3,900 件
外来化学療法実施件数	23,458 件	26,000 件	うち手術件数（全身麻酔）	3,101 件	3,700 件	うち手術件数（全身麻酔）	3,101 件	3,700 件
放射線治療件数	1,015 件	1,400 件	うち手術件数（腹腔鏡／胸腔鏡下）	900 件	1,000 件	うち手術件数（腹腔鏡／胸腔鏡下）	900 件	1,000 件
重粒子線治療件数	271 件	820 件	うち手術件数（ロボット支援）	52 件	250 件	うち手術件数（ロボット支援）	52 件	250 件
緩和ケア実施件数	727 件	740 件	手術件数（造血幹細胞移植）	80 件	80 件	手術件数（造血幹細胞移植）	80 件	80 件
リハビリテーション件数	26,644 件	27,000 件	外来化学療法実施件数	23,458 件	23,600 件	外来化学療法実施件数	23,458 件	23,600 件
漢方サポートセンター 外来患者数	3,528 人	3,680 人	放射線治療件数	1,015 件	1,300 件	放射線治療件数	1,015 件	1,300 件
			重粒子線治療件数	271 件	660 件	重粒子線治療件数	271 件	660 件
			うち医療インバウンド受入件数	0 件	1 件	うち医療インバウンド受入件数	0 件	1 件
			緩和ケア実施件数	727 件	740 件	緩和ケア実施件数	727 件	740 件
			リハビリテーション件数	26,644 件	26,650 件	リハビリテーション件数	26,644 件	26,650 件
			漢方サポートセンター 外来患者数	3,528 人	3,680 人	漢方サポートセンター 外来患者数	3,528 人	3,680 人
			がん相談件数	8,381 件	8,000 件	がん相談件数	8,381 件	8,000 件
			アピアランスサポート 件数	968 件	1,000 件	アピアランスサポート 件数	968 件	1,000 件
（5）循環器呼吸器病センター			（5）循環器呼吸器病センター			（5）循環器呼吸器病センター		
・ 循環器・呼吸器病の専門病院として、循環器			【循環器・呼吸器専門医療】			【循環器・呼吸器専門医療】		
			・ 循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊			・ 循環器及び呼吸器の専門病院としての特殊		

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<p>疾患全般において、急性期医療からリハビリテーションまでを含めた総合的な医療をまた、呼吸器疾患全般に対し、診療体制の充実を図るとともに、肺がんに対する低侵襲手術の実施など、総合的な医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に、間質性肺炎といった呼吸器分野の難病患者等に対し、各々の病態に合わせ、多職種によるチーム医療を提供する。 徹底した服薬管理が必要な、多剤耐性結核対策等を含めた総合的な結核医療を実施する。 循環器病対策基本法で求められている、患者の予後やQOLの改善、循環器病の予防に対応し、迅速な医療の提供や重症化防止など 	<p>性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受入れ拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> カテーテルアブレーションやペースメーカー留置術など、<u>循環器疾患</u>の患者の病態に合わせた適切な医療を安全に提供するとともに、心臓リハビリテーションを効果的に実施し、重症化の予防やQOLの改善に努める。 肺がんについて、患者の状況に応じた的確な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や免疫療法を含むがん薬物療法、<u>放射線療法</u>、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、治験や臨床研究を進め、質の高い医療を提供する。 間質性肺炎センターにおいて、診断技術の向上等の機能強化に取り組みながら<u>質の高い医療を提供する</u>とともに、専門医の育成、患者への相談支援や情報提供を行い、全国の治療拠点としての役割を果たす。 間質性肺炎患者等を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。 	<p>性から、併存疾患を持つ高齢者や難易度の高い手術が多い中で、安全で質の高い手術を提供するとともに、これらの実績を地域の医療機関に積極的に周知し、手術が必要な患者の受入れ拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> カテーテルアブレーションやペースメーカー留置術など、患者の病態に合わせ、適切な医療を安全に提供するとともに、心臓リハビリテーションを効果的に実施し、重症化の予防やQOLの改善に努める。 <u>重症な喘息症状の緩和のための気管支サーモプラスチック療法、喀血治療としての気管支動脈塞栓術等にも積極的に取り組む。</u> 肺がんについて、患者の状況に応じた的確な診断、低侵襲な胸腔鏡手術や免疫療法を含むがん薬物療法、リハビリテーション及び相談サポートなど包括的な診療を行うとともに、治験、臨床研究の<u>取組みや蓄積した患者データの分析等</u>を進め、質の高い医療を提供する。 間質性肺炎センターにおいて、<u>質の高い医療を提供できるよう</u>、診断技術の向上等の機能強化に取り組むとともに、専門医の育成や患者への相談支援や情報提供を行い、全国の治療拠点としての役割を果たす。 間質性肺炎患者等を対象に、チーム医療による包括的呼吸リハビリテーションを目的とした教育入院を推進する。

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
の取組みを推進する。			【結核医療】 <ul style="list-style-type: none"> 結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、高齢化により <u>り</u> 併存疾患を持つ <u>結核</u> 患者や認知症 <u>を有する結核</u> 患者が増加する <u>中</u>、きめの細かい医療サービスを提供する。 保健所と情報を共有し、退院後の治療継続を見据えた院内 D O T S（直接服薬確認療法）を推進する。 			【結核医療】 <ul style="list-style-type: none"> 結核病床を有する第二種感染症指定医療機関として、<u>結核患者について</u>、高齢化による併存疾患を持つ患者や認知症患者 <u>の増加に対応して</u>、きめの細かい医療サービスを提供する。 保健所と情報を共有し、退院後の治療継続を見据えた院内 D O T S（直接服薬確認療法）を推進する。 		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
手術件数（手術室で実施）	429 件	430 件	手術件数（手術室で実施）	429 件	430 件	手術件数（手術室で実施）	429 件	430 件
外来化学療法実施件数	1,124 件	1,440 件	うち手術件数（全身麻酔）	412 件	410 件	うち手術件数（全身麻酔）	412 件	410 件
放射線治療件数	162 件	160 件	カテーテルアブレーション実施件数	184 件	220 件	カテーテルアブレーション実施件数	184 件	220 件
リハビリテーション件数	17,477 件	17,500 件	外来化学療法実施件数	1,124 件	1,440 件	外来化学療法実施件数	1,124 件	1,440 件
間質性肺炎新規外来患者数	594 人	700 人	放射線治療件数	162 件	160 件	放射線治療件数	162 件	160 件
			リハビリテーション件数	17,477 件	17,000 件	リハビリテーション件数	17,477 件	17,000 件
			リハビリテーション件数（循環器）	3,793 件	3,500 件	リハビリテーション件数（循環器）	3,793 件	3,500 件
			リハビリテーション件数（呼吸器）	13,684 件	13,500 件	リハビリテーション件数（呼吸器）	13,684 件	13,500 件
			間質性肺炎新規外来患者数	594 人	600 人	間質性肺炎新規外来患者数	594 人	600 人

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携協力のある大学の医局ローテーションのほか、公募などにより、質の高い医療の提供に必要な医師を確保する。 養成機関との連携、就職説明会への参加、採用試験の工夫・改善などにより、質の高い医療の提供に必要な看護師を確保する。 薬剤師レジデント制度の活用や職種ごとの実態に合わせた採用試験を行うことにより、質の高い医療技術職員や事務職員を確保する。 	<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各病院において、連携協力のある大学の医局ローテーションなどによる人材確保を図る。<u>また</u>、必要に応じて公募や医師の人的ネットワークを活用し、広く一般から優秀な医師を募る。 <p>【看護師・助産師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部事務局と5病院合同での採用試験を年複数回実施することにより、人材確保に努める。 優秀な人材を確保するため、企業や養成校主催の就職説明会へ参加し、広域での看護学生への周知に努める。また、各病院においても、年間を通じてインターンシップや病院説明会、養成校訪問を実施し、<u>広報に力を入れていく。</u> <u>確保が困難な助産師等の安定的な確保を図るため、看護師及び助産師向けの修学資金の貸与を引き続き行っていく。</u> <p>【医療技術職員・事務職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職種に共通する採用試験については、30歳までを対象とする一般採用試験を中心として実施し、職務経験3年以上の人を対象とする経験者採用試験については、必要に応じて実施する。 医療技術職員の採用試験については、適切 	<p>2 質の高い医療を提供するための基盤整備 (1) 人材の確保と育成 (人材の確保)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各所属において、連携協力のある大学の医局ローテーションなどによる人材確保を図る。必要に応じて公募や医師の人的ネットワークを活用し、広く一般から優秀な医師を募る。 <p>【看護師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部と5病院合同での採用試験を年複数回実施することにより、人材確保に努める。 優秀な人材確保のため、企業及び養成校主催の就職説明会へ参加し、広域での看護学生への周知に努める。また、各病院においても、年間を通じてインターンシップや病院説明会、養成校訪問を実施し広報に力を入れていく。<u>特に、確保が困難な職種である助産師等の安定的な確保を図るため、看護師及び助産師向けの修学資金の貸与を引き続き行っていく。</u> <p>【医療技術職員・事務職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職種に共通する採用試験の方法については、30歳までを対象とする一般採用試験を中心として実施し、職務経験3年以上の人を対象とする経験者採用試験については、必要に応じて実施する。 医療技術職員については、適切な時期に採

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>(人材の育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新専門医制度における基幹病院として、専攻医の計画的な受入れと育成に取り組む。 質の高い医療を提供するため、能力開発とキャリア実現を目的として策定された育成プログラムにより、看護師の人材育成を図るとともに、専門看護師、認定看護師及び認定看護管理者等の増加、特定行為に係る看護師の養成を推進する。 足柄上病院においては、研修プログラムとして看護師の特定行為研修の実施を検討する。 	<p>な時期に実施するとともに、確保が困難な職種については、<u>大学等の訪問や説明会への参加</u>など積極的な周知に努める。薬剤師については、薬剤師レジデント制度を継続して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務職員（一般採用）の採用試験については、募集開始時期を早め、優秀な人材の確保に努める。採用予定者については、配属前に病院見学会を行うなどして、当機構や業務に対する理解を深めるとともに、辞退者の発生を抑止する。 <p>(人材の育成)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな専門医制度での基幹施設（病院）として研修実施が可能な診療科のプログラム申請を行い、計画的な受入れと育成に取り組む。 <p>【看護師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリア形成支援システム」に基づき、テーマごとに年 2 回の研修を実施する。特に「医療安全研修」と「臨床倫理研修」は、<u>医師等も受講できる</u>よう公開を行う。また、認定看護師等の資格取得支援についても、勤務の割振り等の配慮等を勧めるなどして取得者の増加を目指す。 足柄上病院においては、看護師の特定行為に係る指定研修機関の指定に向けた取組みを行う。 <p>【医療技術職員等】</p>	<p>用試験を実施するとともに、採用困難な職種については大学等の訪問や説明会への参加など積極的な周知に努める。薬剤師については、薬剤師レジデント制度を継続して実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務職員（一般採用）については、募集開始時期を早め、優秀な人材の確保に努める。採用予定者については、配属前に病院見学会を行うなどして、当機構や業務に対する理解を深めるとともに、辞退者の発生を抑止する。 <p>(人材の育成)</p> <p>【医師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな専門医制度での基幹施設（病院）として研修実施が可能な診療科のプログラム申請を行い、計画的な受け入れと育成に取り組む。 <p>【看護師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「キャリア形成支援システム」に基づき、テーマごとに年 2 回の研修を実施する。特に「医療安全研修」と「看護倫理・臨床倫理研修」は医師等も受講できるよう公開を行う。また、認定看護師等の資格取得支援についても、勤務の割振り等の配慮等を勧めるなどして取得者の増加を目指す。 足柄上病院においては、看護師の特定行為指定研修機関の認定に向けた取組みを行う。 <p>【医療技術職員等】</p>

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<ul style="list-style-type: none"> 医療技術職員等については、人材育成の考え方の整理を進め、研修の充実、強化等に取り組む。また、OJTを通じて計画的な人材育成を進める。 事務職員については、人材育成アクションプログラムを基に求められるスキルを明確にして研修メニューの更なる充実を図る。また、人材育成アクションプログラムに基づく研修の実施や、異なる分野への定期的な人事異動を実施し、病院運営に係る幅広い知識と経験を持つ、バランス感覚に優れた人材の育成を図る。 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 管理職に対して、病院経営に対する高い経営感覚とマネジメント能力を身に付けるための研修を実施するとともに、事務職員については、診療報酬事務や病院経営に関する深い専門知識や高い経営感覚を身に付けるため、 	<ul style="list-style-type: none"> OJTを中心とした人材育成を実施する。 管理職からの意見聴取や職員数の多い職種についてキャリア面接の実施を検討するなど、職員の意向や人事異動に係る情報の取得等に努め、人材育成の考え方の整理を進める。 <p>【事務職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人材育成に関する方向性とアクションプログラム」に基づき人材育成を実施していく。 一般採用職員については、採用から10年程度の期間において、幅広い業務を経験できるような人事異動の実施に努める。また、診療報酬に関する専門研修等を実施するなど研修の充実を図る。 経験者採用職員については、<u>医事事務</u>や病院経営に関する実務等の経験を活かした人事異動を実施していく。 幹部職員を対象に、外部講師を活用した病院経営や組織マネジメント等に関する研修を開催する。 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 職員のチャレンジ精神を育て、組織の活性化を図るため、令和元年度に開始した病院機構内からの公募<u>制度</u>について、適する業務の<u>選定や周知</u>に努め、積極的な推進を図る。また、職員の資質向上を図るため、 	<ul style="list-style-type: none"> <u>医療技術職員等については</u>、OJTを中心とした人材育成を実施する。 管理職からの意見聴取や職員数の多い職種についてキャリア面接の実施を検討するなど、職員の意向や人事異動に係る情報の取得等に努め、人材育成の考え方の整理を進める。 <p>【事務職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>事務職員については</u>、「人材育成に関する方向性とアクションプログラム」に基づき人材育成を実施していく。 一般採用職員については、採用から10年程度の期間において、幅広い業務を経験できるような人事異動の実施に努める。 また、診療報酬に関する専門研修等を実施するなど研修の充実を図る。 経験者採用職員については、<u>医事</u>や病院経営に関する実務等の経験を活かした人事異動を実施していく。 幹部職員を対象に、外部講師を活用し、病院経営や組織マネジメント等に関する研修を<u>複数回</u>開催する。 職員の経営意識を高めるため、課題別の経営分析を推進する。 職員のチャレンジ精神を育て、組織の活性化を図るため、令和元年度に開始した病院機構内からの公募について、適する業務を<u>選定するとともに、PR</u>に努め積極的な推進を図る。また、職員の資質向上を図る

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
計画的な人事異動や専門研修を実施する。 ・ 職員の意欲を引き出し、能力を高めるため、病院機構内からの公募を実施するとともに、他団体との人事交流の実施を検討する。 [目標値]			民間病院等への派遣の実施に向けた検討を行う。 [目標値]			ため、民間病院等への派遣の実施に向けた検討を行う。 [目標値]		
区分	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
専攻医の採用者数	10 人	12 人	専攻医の採用者数	10 人	10 人	専攻医の採用者数	10 人	10 人
看護師の充足率	100.0%	100.0%	看護師の充足率	100.0%	100.0%	看護師の充足率	100.0%	100.0%
(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化 ・ 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 (足柄上病院) ・ 地元医師会や市町などの関係機関を含め、地域の医療機関や在宅療養を行う施設等と必要な情報を共有しながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。 ・ 県西地域の中核的な総合病院として、総合診療科を中心として地域の医療機関等と連携			(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化 ・ 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 ・ 各病院の地域医療連携に関する取組みや課題について関係会議等で共有し、地域医療連携の <u>促進を図る</u> 。 (足柄上病院) ・ 地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア病棟で、患者のスムーズな在宅復帰に向けたサポートを行うとともに、在宅療養後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。また、地域の医療機			(2) 地域の医療機関等との機能分化・連携強化 ・ 地域における中核医療機関又は高度・専門医療機関として求められる役割を果たし、県民が急性期から在宅医療・介護まで一連のサービスを切れ目なく受けることができるよう、医療機器の共同利用や地域の医療機関等向けの研修会などの開催を含め、地域の医療機関等との機能分化や連携強化を推進する。 ・ 各病院の地域医療連携に関する取組みや課題について関係会議等で共有し、地域医療連携を <u>推進する</u> 。 (足柄上病院) ・ 地域包括ケアシステムを推進するため、地域包括ケア病棟で、患者のスムーズな在宅復帰に向けたサポートを行うとともに、在宅療養後方支援病院として、退院後、早期にかかりつけ医と一緒に訪問診療を行い、在宅療養への円滑な移行を支援する。		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>を行うとともに、地域医療支援病院の承認を目指す。</p> <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療を提供する機関の診療・医療技術の向上の支援を含めた連携体制を整備し、患者の在宅移行を推進する。 地域の医療機関等との勉強会やカンファレンス、研修会を実施し、連携強化を図る。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やすため、長期入院患者を含めた患者の逆紹介を推進する。 	<p>関との相互連携と機能分担を強化し、患者一人一人に対し、適切で切れ目のない医療の提供を行うとともに、地域医療の充実を図るため、地域医療支援病院の承認を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期間の点滴・抗生物質で、在宅での治療が可能な軽症患者に対し、短期在宅加療クリニカルパスを利用することにより、在宅療養の推進を図る。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院として医療機関等との連携に努め、登録医療機関数の増加を図る。また、登録医療機関向けの「地域連携室だより」を発刊し、当センターの診療内容や各部署の取り組み等の広報・周知を行う。 <u>地域医療支援事業運営委員会における地域の医療機関等との意見交換、訪問看護ステーションにおける実技研修会の開催などを通して、前方連携や在宅移行を推進する。</u> 地域医療支援事業研修会を開催し、<u>診断技術</u>や治療方法の紹介を通して診療所の医師、行政機関の保健師、学校の教員などの資質向上を図る。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入院患者を含めた患者の逆紹介に積極的に取り組み、地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やしていく。 連携サポートセンターが中心となり、医療 	<p>また、地域医療機関との相互連携と機能分担を強化し、患者一人一人に対し、適切で切れ目のない医療の提供を行うとともに、地域医療の充実を図るため、地域医療支援病院の承認を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期間の点滴・抗生物質で在宅での治療が可能な軽症患者に対し、短期在宅加療クリニカルパスを利用することにより、<u>入院期間の短縮化を図り</u>、在宅療養の推進を図る。 <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院として医療機関等との連携に努め、登録医療機関数の増加を図る。また、登録医療機関向けの「地域連携室だより」を発刊し、当センターの診療内容や各部署の取り組み等の広報・周知を行う。 <u>地域医療支援事業運営委員会を開催し、地域医療支援の課題について意見交換を行うなど、前方連携を強化し、在宅移行を推進する。</u> 地域医療支援事業研修会を開催し、<u>診療内容</u>や治療方法の紹介を通して診療所の医師、行政機関の保健師、学校の教員などの資質向上を図る。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期入院患者を含めた患者の逆紹介に積極的に取り組み、地域の精神科医療機関等との機能分化の中で求められる患者の受入れを増やしていく。 連携サポートセンターが中心となり、医療

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くのがん患者に高度・専門医療を提供するため、緊急緩和ケア病床の活用や研修会等の開催も含め、地域の医療機関等との連携を強化する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅療養を支える医療機関や訪問看護師への支援、医療機関への訪問活動などにより、地域の医療機関との連携を強化する。 	<p>機関訪問や関係機関向け病院見学会の実施など地域との連携を強化するとともに、退院前及び退院後の訪問看護を通じ、地域における患者ケアの推進に努める。</p> <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初来院患者の増加を図るため、地域医療連携部門と各診療科の連携を強化し、地域の医療機関等への訪問を拡大する。 地域の医療機関等における緩和ケア研修の開催や緊急緩和ケア病床の確保などにより地域との連携を推進する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り事例や連携困難事例についての検討会を開催するなど、医療機関や訪問看護ステーション等との顔の見える関係を深めるとともに、横浜市が進める在宅医療連携拠点事業に協力し、地域における在宅療養の支援に取り組む。 地域の医療機関等を訪問し、連携の現状や課題について意見交換を行うなど、信頼関係の構築に努めるとともに、登録機関を増やして医療機器の共同利用を推進する。 院内及び地域の医療機関の看護師を対象とする「慢性呼吸器疾患看護専門研修」や、社会福祉士及び介護支援専門員も対象とする「退院支援教育研修」を実施し、専門性の高いケアができる看護師等を広く育成するとともに、地域との連携を強化する。 <p>(こども医療センター・がんセンター)</p>	<p>機関訪問や関係機関向け病院見学会の実施など地域との連携を強化し、退院前及び退院後の訪問看護を通じ、地域における患者ケアの推進に努める。</p> <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 初来院患者の増加を図るため、地域医療連携部門と各診療科の連携により、地域医療機関等への訪問を強化する。 地域の医療機関等への訪問による緩和ケア研修の開催や緊急緩和ケア病床を確保するなど、地域との連携を推進する。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り事例や連携困難事例についての検討会を開催するなど、医療機関や訪問看護ステーション等との顔の見える関係を深めるとともに、横浜市が進める在宅医療連携拠点事業に協力し、地域における在宅療養の支援に取り組む。 地域の医療機関等を訪問し連携の現状や課題について意見交換を行うなど、信頼関係の構築に努めるとともに、登録機関を増やして医療機器の共同利用を推進する。 院内及び地域医療機関の看護師を対象とする「慢性呼吸器疾患看護専門研修」や、社会福祉士及び介護支援専門員も対象とする「退院支援教育研修」を実施し、専門性の高いケアができる看護師等を広く育成するとともに、地域との連携を強化する。 <p>(こども医療センター・がんセンター)</p>

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
<p>[目標値]</p> 紹介件数・紹介率			<p>[目標値]</p> 紹介件数・紹介率			<p>[目標値]</p> 紹介件数・紹介率		
病院名	平成 30 年度実績値		病院名	平成 30 年度実績値		病院名	平成 30 年度実績値	
	紹介件数	紹介率		紹介件数	紹介率		紹介件数	紹介率
足柄上病院	4,306 件	45.4%	足柄上病院	4,306 件	45.4%	足柄上病院	4,306 件	45.4%
こども医療センター	8,730 件	93.7%	こども医療センター	8,730 件	93.7%	こども医療センター	8,730 件	93.7%
精神医療センター	1,175 件	74.5%	精神医療センター	1,175 件	74.5%	精神医療センター	1,175 件	74.5%
がんセンター	7,833 件	99.5%	がんセンター	7,833 件	99.5%	がんセンター	7,833 件	99.5%
循環器呼吸器病センター	4,223 件	68.1%	循環器呼吸器病センター	4,223 件	68.1%	循環器呼吸器病センター	4,223 件	68.1%
病院名	令和 6 年度目標値		病院名	令和 2 年度目標値		病院名	令和 2 年度目標値	
	紹介件数	紹介率		紹介件数	紹介率		紹介件数	紹介率
足柄上病院	4,750 件	50.0%	足柄上病院	4,750 件	50.0%	足柄上病院	4,750 件	50.0%
こども医療センター	8,950 件	97.5%	こども医療センター	8,750 件	95.5%	こども医療センター	8,750 件	95.5%
精神医療センター	1,400 件	82.0%	精神医療センター	1,200 件	76.0%	精神医療センター	1,200 件	76.0%
がんセンター	8,200 件	99.5%	がんセンター	8,200 件	99.5%	がんセンター	8,200 件	99.5%
循環器呼吸器病センター	4,540 件	71.0%	循環器呼吸器病センター	4,420 件	69.0%	循環器呼吸器病センター	4,420 件	69.0%
逆紹介件数・逆紹介率			逆紹介件数・逆紹介率			逆紹介件数・逆紹介率		
病院名	平成 30 年度実績値		病院名	平成 30 年度実績値		病院名	平成 30 年度実績値	
	逆紹介件数	逆紹介率		逆紹介件数	逆紹介率		逆紹介件数	逆紹介率

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）			令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点		
足柄上病院	4,961件	52.3%	足柄上病院	4,961件	52.3%	足柄上病院	4,961件	52.3%
こども医療センター	(6,429件)	(69.0%)	こども医療センター	(6,429件)	(69.0%)	こども医療センター	(6,429件)	(69.0%)
精神医療センター	814件	51.6%	精神医療センター	814件	51.6%	精神医療センター	814件	51.6%
がんセンター	4,943件	62.8%	がんセンター	4,943件	62.8%	がんセンター	4,943件	62.8%
循環器呼吸器病センター	4,447件	71.7%	循環器呼吸器病センター	4,447件	71.7%	循環器呼吸器病センター	4,447件	71.7%
病院名	令和6年度目標値		病院名	令和2年度目標値		病院名	令和2年度目標値	
	逆紹介件数	逆紹介率		逆紹介件数	逆紹介率		逆紹介件数	逆紹介率
足柄上病院	6,640件	70.0%	足柄上病院	6,640件	70.0%	足柄上病院	6,640件	70.0%
こども医療センター	5,000件	50.0%	こども医療センター	4,600件	46.0%	こども医療センター	4,600件	46.0%
精神医療センター	1,000件	57.0%	精神医療センター	830件	53.0%	精神医療センター	830件	53.0%
がんセンター	5,740件	70.0%	がんセンター	5,330件	65.0%	がんセンター	5,330件	65.0%
循環器呼吸器病センター	4,800件	75.0%	循環器呼吸器病センター	4,670件	73.0%	循環器呼吸器病センター	4,670件	73.0%
※こども医療センター（ ）内数字については、算定方法が異なるため参考値。			※こども医療センター（ ）内数字については、算定方法が異なるため参考値。			※こども医療センター（ ）内数字については、算定方法が異なるため参考値。		
（3）臨床研究の推進			（3）臨床研究の推進			（3）臨床研究の推進		
<ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を整備し、多施設共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を整備し、多施設共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 <u>本部事務局に各病院の臨床研究に係る事務を支援する組織を設置する。</u> 			<ul style="list-style-type: none"> より良い診断法や治療法を確立するため、臨床研究への支援体制や臨床研究法に適切に対応する体制を整備し、多施設共同臨床試験への参加や治験の実施などの臨床研究に取り組む。 		
(足柄上病院)			(足柄上病院)			(足柄上病院)		
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つという特徴を活かした臨床研究を推進する。 			<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つ病院の特徴を活かした臨床研究の推進について、検討を 			<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療の症例を幅広く持つ当院の特徴を活かした臨床研究の推進について、検討を 		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 難治性の小児疾患に関する臨床研究を推進する。 臨床応用を目指し、ゲノム医療等の最先端医療につながる研究を実施する。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進する。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんの新たな診断・治療方法の開発を推進する。 臨床応用を目指し、がんゲノム医療や免疫医療等の最先端医療につながる研究を実施する。 	<p>行う。</p> <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんゲノム医療の実施に向け、相談窓口を設置するなど体制を整備するとともに、多施設共同研究に積極的に参加する。 第三種再生医療等技術に関する治験に取り組む。 ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る解析システムを開発するなど、診断率の向上につながる研究を実施する。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進するほか、反復経頭蓋磁気刺激法 (<u>r-TMS</u>) の国内における有効性及び安全性に係る調査などを実施する。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんワクチン療法や遺伝子導入リンパ球療法など新たながん免疫療法の臨床研究を継続するとともに、免疫療法の有効性を高めるバイオマーカーの臨床研究を推進する。 がんゲノム医療の推進と並行して、診療データ等を利活用したがんゲノム医療の質的向上に資する臨床研究や基盤的研究を企画・推進する。 	<p>行う。</p> <p>(こども医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>がんセンターと連携した小児がん患者に対する重粒子線治療の実施など、小児疾患に関する臨床研究の取組みについて情報発信を行う。</u>また、がんゲノム医療の実施に向け、相談窓口を設置するなど体制を整備するとともに、多施設共同研究に積極的に参加する。 第三種再生医療等技術の提供に関する治験に取り組む。また、<u>造血幹細胞移植などの細胞治療の導入に向けた体制を整備する。</u> ヒトゲノム・遺伝子解析研究において解析システムを開発するなど、診断率の向上につながる研究を実施する。 <p>(精神医療センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 依存症医療の分野で新しい治療モデルを模索するなど臨床研究を推進するほか、反復経頭蓋磁気刺激法の国内における有効性及び安全性にかかるとともに調査などを実施する。 <p>(がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> がんワクチン療法や遺伝子導入リンパ球療法など新たながん免疫療法の臨床研究を継続するとともに、免疫療法の有効性を高めるバイオマーカーの臨床研究を推進する。 がんゲノム医療の推進と並行して診療データ等を利活用し、がんゲノム医療の質向上に資する臨床研究や基盤的研究を企画・推進する。

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点																																																															
<p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 間質性肺炎や肺がん、循環器疾患の臨床研究を推進する。 <p>(こども医療センター・がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児がん、AYA世代のがんについて臨床研究を進める。 <p>[目標値] 治験受託件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生体試料センターで収集する臨床検体等を用いた臨床研究を、産学と連携して推進する。 診療データを活用した臨床研究を推進するため、県内大学との連携によるデータベースの構築に取り組む。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」をはじめ、間質性肺炎や肺がんなどの呼吸器疾患及び循環器疾患に対して専門性を生かした臨床研究や治験を推進する。 <p>(こども医療センター・がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児の固形腫瘍、AYA世代の軟部肉腫などについて、こども医療センターとがんセンターが連携してがん移植モデル動物を作製し、基礎研究、臨床研究を進める。 <p>[目標値] 治験受託件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生体試料センターで収集する臨床検体等を用いた臨床研究を産学と連携して推進する。 診療データを活用した臨床研究を推進するため、県内大学との連携によるデータベースの構築に取り組む。 <p>(循環器呼吸器病センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 循環器呼吸器病センター主導で実施している「特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究」をはじめ、間質性肺炎や肺がんなどの呼吸器疾患及び循環器疾患に対して専門性を生かした高度で複雑な臨床研究や治験を推進する。 <p>(こども医療センター・がんセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児腫瘍、AYA世代の軟部肉腫について、こども医療センターとがんセンターが連携して患者がん移植モデル動物を作製し、基礎研究、臨床研究を進める。 <p>[目標値] 治験受託件数</p>																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 6 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39 件</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>3 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>158 件</td> <td>230 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>44 件</td> <td>30 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>248 件</td> <td>302 件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	足柄上病院	4 件	4 件	こども医療センター	39 件	36 件	精神医療センター	3 件	2 件	がんセンター	158 件	230 件	循環器呼吸器病センター	44 件	30 件	計	248 件	302 件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39 件</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>158 件</td> <td>170 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>44 件</td> <td>30 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>248 件</td> <td>241 件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	足柄上病院	4 件	4 件	こども医療センター	39 件	36 件	精神医療センター	3 件	1 件	がんセンター	158 件	170 件	循環器呼吸器病センター	44 件	30 件	計	248 件	241 件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>4 件</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>39 件</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>158 件</td> <td>170 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>44 件</td> <td>30 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>248 件</td> <td>241 件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	足柄上病院	4 件	4 件	こども医療センター	39 件	36 件	精神医療センター	3 件	1 件	がんセンター	158 件	170 件	循環器呼吸器病センター	44 件	30 件	計	248 件	241 件
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値																																																															
足柄上病院	4 件	4 件																																																															
こども医療センター	39 件	36 件																																																															
精神医療センター	3 件	2 件																																																															
がんセンター	158 件	230 件																																																															
循環器呼吸器病センター	44 件	30 件																																																															
計	248 件	302 件																																																															
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																															
足柄上病院	4 件	4 件																																																															
こども医療センター	39 件	36 件																																																															
精神医療センター	3 件	1 件																																																															
がんセンター	158 件	170 件																																																															
循環器呼吸器病センター	44 件	30 件																																																															
計	248 件	241 件																																																															
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																															
足柄上病院	4 件	4 件																																																															
こども医療センター	39 件	36 件																																																															
精神医療センター	3 件	1 件																																																															
がんセンター	158 件	170 件																																																															
循環器呼吸器病センター	44 件	30 件																																																															
計	248 件	241 件																																																															
[目標値] 介入を伴う医師主導臨床試験（多施設	[目標値] 介入を伴う医師主導臨床試験（多施設	[目標値] 介入を伴う医師主導臨床試験（多施設																																																															

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点																																																
	で実施するもののみ) 実施件数 <table border="1" data-bbox="797 252 1442 558"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40 件</td> <td>40 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>248 件</td> <td>270 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>36 件</td> <td>30 件</td> </tr> </tbody> </table> 【目標値】筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る） <table border="1" data-bbox="797 691 1442 997"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>91 件</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>37 件</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>12 件</td> <td>12 件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	こども医療センター	40 件	40 件	がんセンター	248 件	270 件	循環器呼吸器病センター	36 件	30 件	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	こども医療センター	91 件	100 件	がんセンター	37 件	50 件	循環器呼吸器病センター	12 件	12 件	で実施するもののみ) 実施件数 <table border="1" data-bbox="1478 252 2094 558"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>40 件</td> <td>40 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>248 件</td> <td>270 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>36 件</td> <td>30 件</td> </tr> </tbody> </table> 【目標値】筆頭著者である英語論文件数（査読のある学術雑誌に掲載されたものに限る） <table border="1" data-bbox="1478 691 2094 997"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 2 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>91 件</td> <td>100 件</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>37 件</td> <td>50 件</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>12 件</td> <td>12 件</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	こども医療センター	40 件	40 件	がんセンター	248 件	270 件	循環器呼吸器病センター	36 件	30 件	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	こども医療センター	91 件	100 件	がんセンター	37 件	50 件	循環器呼吸器病センター	12 件	12 件
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																
こども医療センター	40 件	40 件																																																
がんセンター	248 件	270 件																																																
循環器呼吸器病センター	36 件	30 件																																																
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																
こども医療センター	91 件	100 件																																																
がんセンター	37 件	50 件																																																
循環器呼吸器病センター	12 件	12 件																																																
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																
こども医療センター	40 件	40 件																																																
がんセンター	248 件	270 件																																																
循環器呼吸器病センター	36 件	30 件																																																
病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値																																																
こども医療センター	91 件	100 件																																																
がんセンター	37 件	50 件																																																
循環器呼吸器病センター	12 件	12 件																																																
(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム、遠隔医療技術を活用し、効果的・効率的な医療を提供する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 【目標値】地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数	(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム等を活用し、効果的・効率的な医療の提供を推進する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 【目標値】地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数	(4) ICTやAIなどの最先端技術の活用 ア ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテシステムや地域医療連携ネットワークシステム等を活用し、効果的・効率的な医療の提供を推進する。 国や県等が行う医療・介護分野での関係機関のネットワーク化及びデータの利活用事業に協力する。 【目標値】地域医療連携ネットワークシステムに参加している地域の医療機関等の数																																																

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
足柄上病院	27 機関	27 機関	足柄上病院	27 機関	27 機関	足柄上病院	27 機関	27 機関
こども医療センター	38 機関	108 機関	こども医療センター	38 機関	68 機関	こども医療センター	38 機関	68 機関
がんセンター	49 機関	60 機関	がんセンター	49 機関	55 機関	がんセンター	49 機関	55 機関
循環器呼吸器病センター	50 機関	80 機関	循環器呼吸器病センター	50 機関	60 機関	循環器呼吸器病センター	50 機関	60 機関
※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。 イ AI を活用した医療への取組み <ul style="list-style-type: none"> AI による診断補助システムなどを導入し、より正確で質の高い医療を提供する。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、関連機関と連携して AI 医療機器の開発研究等に協力する。 3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供 (1) 医療安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 医療事故を防止するため、医療安全管理に対する取組みを引き続き推進する。不測の事 			※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。 イ AI を活用した医療への取組み <ul style="list-style-type: none"> AI による診断補助システムの導入など、より正確で質の高い医療の提供にむけて検討を行う。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、<u>関連機関と連携して AI 医療機器の開発研究等に協力する。</u> がんセンターにおいて、令和元年度に開始した内視鏡診断に AI を活用する事業へ引き続き参加し、開発研究に協力する。また、臨床研究所と遺伝診療科で共同開発した「AI 遺伝カウンセラー」の検証研究を実施する。 3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供 (1) 医療安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 医療事故等対応マニュアルの運用を徹底し、医療事故等の発生の際には迅速な対応、適切 			※精神医療センターは地域医療連携ネットワークシステム未導入のため、目標は設定しない。 イ AI を活用した医療への取組み <ul style="list-style-type: none"> AI による診断補助システムの導入など、より正確で質の高い医療の提供にむけて検討を行う。 各病院の機能や蓄積された情報を活用し、AI に基づく開発研究等 <u>の実施を推進する。</u> がんセンターにおいて、令和元年度に開始した内視鏡診断に AI を活用する事業へ引き続き参加し、開発研究に協力する。また、臨床研究所と遺伝診療科で共同開発した「AI 遺伝カウンセラー」の検証研究を実施する。 3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供 (1) 医療安全対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 医療事故等対応マニュアルの運用を徹底し、医療事故等の発生の際には迅速な対応、適切 		

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）			令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点		
態が発生した場合は、迅速かつ適切に対応するとともに、再発防止対策の徹底を図る。			な現状把握・報告・記録を行い、医療安全推進会議等で再発防止を検討する。 ・ 各病院において医療安全に関わる会議や研修を開催し、医療安全の教育を徹底する。 ・ レベル0、1のヒヤリ・ハット事例の積極的な報告を推進する。特に、医師からの報告割合を高め、重大事故の未然防止に努める。			な現状把握・報告・記録を行い、医療安全推進会議等で再発防止を検討する。 ・ 各病院において医療安全に関わる会議や研修を開催し、医療安全の教育を徹底する。 ・ レベル0、1のヒヤリ・ハット事例の積極的な報告を推進する。特に、医師からの報告割合を高め、重大事故の未然防止に努める。		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合			ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合			ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体におけるレベル0及びレベル1の割合		
・ 院内感染の発生予防及び拡大防止のため、発生	平成30年度実績値	令和6年度目標値	病院名	平成30年度実績値	令和2年度目標値	病院名	平成30年度実績値	令和2年度目標値
足柄上病院	86.7%	86.0%	足柄上病院	86.7%	84.5%	足柄上病院	86.7%	84.5%
こども医療センター	91.0%	92.0%	こども医療センター	91.0%	91.2%	こども医療センター	91.0%	91.2%
精神医療センター	81.8%	85.0%	精神医療センター	81.8%	83.0%	精神医療センター	81.8%	83.0%
がんセンター	75.5%	80.0%	がんセンター	75.5%	76.0%	がんセンター	75.5%	76.0%
循環器呼吸器病センター	88.7%	91.0%	循環器呼吸器病センター	88.7%	89.0%	循環器呼吸器病センター	88.7%	89.0%
ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合			ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合			ヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告全体における医師の報告割合		
病院名	平成30年度実績値	令和6年度目標値	病院名	平成30年度実績値	令和2年度目標値	病院名	平成30年度実績値	令和2年度目標値
足柄上病院	0.6%	3.0%	足柄上病院	0.6%	1.0%	足柄上病院	0.6%	1.0%
こども医療センター	2.4%	4.0%	こども医療センター	2.4%	2.8%	こども医療センター	2.4%	2.8%
精神医療センター	0.9%	2.0%	精神医療センター	0.9%	1.2%	精神医療センター	0.9%	1.2%
がんセンター	2.3%	4.0%	がんセンター	2.3%	2.5%	がんセンター	2.3%	2.5%

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）			令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点		
循環器呼吸器病センタ ー	2.0%	4.0%	循環器呼吸器病センタ ー	2.0%	2.4%	循環器呼吸器病センタ ー	2.0%	2.4%
<p>（2）患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、研修等を実施し、職員の接客能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間の短縮に努めるとともに、アメニティの向上による心理的負担感の軽減に取り組む。 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 入院前や入院初期の時点から、患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 			<p>（2）患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <p>【満足度向上に向けた取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、患者対応能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間の短縮化に各病院が努めるとともに、アメニティの向上などにより心理的負担感を軽減させる取組みを行う。 <p>【患者支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 入院前や入院初期の時点から患者の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 			<p>（2）患者満足度の向上と患者支援の充実</p> <p>【職員研修・待機日数短縮等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等の立場に立ったサービスを提供するため、新規採用職員等を対象に研修を実施し、<u>職員</u>の患者対応能力の向上を図る。 診療や検査、手術までの待機日数の短縮に向けた取組みを進める。 外来診療や会計の待ち時間について各病院において短縮に努めるとともに、アメニティの向上などによる負担感を軽減する取組みを行う。 <p>【相談支援・患者会・入退院支援等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及び家族等が安心して診療を受けることができるよう、治療や生活上の問題、就労支援等の多様な相談に対応するなど、患者支援体制を充実する。 医療者と患者間の対話を促進し、相互理解を深めて円滑な診療を推進するため、医療メディエーターを引き続き配置する。 予定入院の患者に、入院前から多職種が必要な説明や支援を行い、安心して入院診療を受けることができる体制を整備する。 入院前や入院初期の時点から、<u>患者</u>の退院調整を行い、必要な治療終了後、速やかに在宅移行や他の医療機関等への転院が図られる体制を整備する。 		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

<p>第三期中期計画（案）</p> <p>※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点</p>	<p>令和 2 年度年度計画（案）</p>	<p>令和 2 年度年度計画（素案）</p> <p>※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点</p>
<p>・ 診療内容を標準化し、良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの拡大や見直しを行う。</p>	<p>・ 診療内容の標準化や良質な医療の効率的な提供に質するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。</p> <p>（足柄上病院）</p> <p>退院困難な要因を有するが、在宅での療養を希望する患者に対し、訪問看護師やケアマネジャーなどを含めた院内外の多職種による退院支援の充実強化を図る。</p> <p>（こども医療センター）</p> <p>地域医療連携室、医療福祉相談室及び退院・在宅医療支援室が連携して、患者及び家族の支援や地域の医療機関等との橋渡しを行う。また、入院から退院後の在宅医療までの一貫した支援体制の構築を目指す。</p> <p>（精神医療センター）</p> <p>依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士が依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、定期的に依存症家族会を開催し、患者・家族支援を充実する。</p> <p>（がんセンター）</p> <p>患者会の運営支援、アピアランスケア、重粒子線治療やゲノム医療に係る相談、就労支援等について、社会保険労務士やハローワーク、臨床心理士等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。（再掲）</p> <p>（循環器呼吸器病センター）</p> <p>間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について</p>	<p>・ 診療内容の標準化や良質な医療を効率的に提供するため、地域連携及び院内クリニカルパスの作成及び見直しを行う。</p> <p>（足柄上病院）</p> <p>退院困難な要因を有するが、在宅での療養を希望する患者に対し、訪問看護ステーションやケアマネジャーなど院内外の多職種による退院支援の充実強化を図る。</p> <p>（こども医療センター）</p> <p>地域医療連携室、医療福祉相談室及び退院・在宅医療支援室が連携して、患者及び家族の支援や地域医療機関等との橋渡しを行う。また、入院から退院後の在宅医療まで一貫した支援体制の構築を目指すし、教育的活動に努める</p> <p>（精神医療センター）</p> <p>依存症治療拠点機関として、精神保健福祉士が依存症に係る専門的な相談に対応するとともに、定期的に依存症家族会を開催し、患者・家族支援を充実する。</p> <p>（がんセンター）</p> <p>患者会の運営支援、アピアランスケア、重粒子線治療・ゲノム医療に係る相談、就労支援等について、社会保険労務士やハローワーク、臨床心理士等と連携し、多様な相談にきめ細やかに対応する。（再掲）</p> <p>（循環器呼吸器病センター）</p> <p>間質性肺炎の患者、家族等を対象とした勉強会を開催し、病気や治療法等について</p>

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点																																																												
<p>知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い交流を図る。</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾患や予防等に関する県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。 	<p>知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い交流を図る。</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾患や予防等に関する県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。 	<p>知る機会を作るとともに、患者、家族等の交流や情報交換等を行う患者会を開催し、抱えている問題や悩み等を分かち合い交流を図る。</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾患や予防等に関する県民の理解を深めるため、公開講座やホームページ及び広報誌等を通じた情報発信を積極的に行う。 																																																												
【目標値】	【目標値】	【目標値】																																																												
入院患者満足度・外来患者満足度	入院患者満足度・外来患者満足度	入院患者満足度・外来患者満足度																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成30年度実績値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>97.1%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>97.0%</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>75.5%</td> <td>92.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>95.5%</td> <td>91.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>99.4%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度実績値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	97.1%	91.7%	こども医療センター	97.0%	96.0%	精神医療センター	75.5%	92.4%	がんセンター	95.5%	91.1%	循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成30年度実績値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>97.1%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>97.0%</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>75.5%</td> <td>92.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>95.5%</td> <td>91.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>99.4%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度実績値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	97.1%	91.7%	こども医療センター	97.0%	96.0%	精神医療センター	75.5%	92.4%	がんセンター	95.5%	91.1%	循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">平成30年度実績値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>97.1%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>97.0%</td> <td>96.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>75.5%</td> <td>92.4%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>95.5%</td> <td>91.1%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>99.4%</td> <td>98.6%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成30年度実績値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	97.1%	91.7%	こども医療センター	97.0%	96.0%	精神医療センター	75.5%	92.4%	がんセンター	95.5%	91.1%	循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%
病院名		平成30年度実績値																																																												
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	97.1%	91.7%																																																												
こども医療センター	97.0%	96.0%																																																												
精神医療センター	75.5%	92.4%																																																												
がんセンター	95.5%	91.1%																																																												
循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%																																																												
病院名	平成30年度実績値																																																													
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	97.1%	91.7%																																																												
こども医療センター	97.0%	96.0%																																																												
精神医療センター	75.5%	92.4%																																																												
がんセンター	95.5%	91.1%																																																												
循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%																																																												
病院名	平成30年度実績値																																																													
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	97.1%	91.7%																																																												
こども医療センター	97.0%	96.0%																																																												
精神医療センター	75.5%	92.4%																																																												
がんセンター	95.5%	91.1%																																																												
循環器呼吸器病センター	99.4%	98.6%																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和6年度目標値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>80.0%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和6年度目標値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	100.0%	100.0%	こども医療センター	100.0%	100.0%	精神医療センター	80.0%	93.0%	がんセンター	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和2年度目標値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>80.0%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和2年度目標値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	100.0%	100.0%	こども医療センター	100.0%	100.0%	精神医療センター	80.0%	93.0%	がんセンター	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="2">令和2年度目標値</th> </tr> <tr> <th>入院患者満足度</th> <th>外来患者満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>80.0%</td> <td>93.0%</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	令和2年度目標値		入院患者満足度	外来患者満足度	足柄上病院	100.0%	100.0%	こども医療センター	100.0%	100.0%	精神医療センター	80.0%	93.0%	がんセンター	100.0%	100.0%	循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%
病院名		令和6年度目標値																																																												
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	100.0%	100.0%																																																												
こども医療センター	100.0%	100.0%																																																												
精神医療センター	80.0%	93.0%																																																												
がんセンター	100.0%	100.0%																																																												
循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%																																																												
病院名	令和2年度目標値																																																													
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	100.0%	100.0%																																																												
こども医療センター	100.0%	100.0%																																																												
精神医療センター	80.0%	93.0%																																																												
がんセンター	100.0%	100.0%																																																												
循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%																																																												
病院名	令和2年度目標値																																																													
	入院患者満足度	外来患者満足度																																																												
足柄上病院	100.0%	100.0%																																																												
こども医療センター	100.0%	100.0%																																																												
精神医療センター	80.0%	93.0%																																																												
がんセンター	100.0%	100.0%																																																												
循環器呼吸器病センター	100.0%	100.0%																																																												
入退院支援実施件数	入退院支援実施件数	入退院支援実施件数																																																												

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
足柄上病院	1,570 件	1,800 件	足柄上病院	1,570 件	1,680 件	足柄上病院	1,570 件	1,680 件
こども医療センター	1,493 件	1,500 件	こども医療センター	1,493 件	1,500 件	こども医療センター	1,493 件	1,500 件
がんセンター	8,189 件	9,500 件	がんセンター	8,189 件	9,500 件	がんセンター	8,189 件	9,500 件
循環器呼吸器病センター	2,268 件	2,300 件	循環器呼吸器病センター	2,268 件	2,300 件	循環器呼吸器病センター	2,268 件	2,300 件
計	13,520 件	15,100 件	計	13,520 件	14,980 件	計	13,520 件	14,980 件
※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。 入院時支援実施件数			※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。 入院時支援実施件数			※入退院支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。 入院時支援実施件数		
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
足柄上病院	206 件	600 件	足柄上病院	206 件	480 件	足柄上病院	206 件	480 件
こども医療センター	333 件	800 件	こども医療センター	333 件	800 件	こども医療センター	333 件	800 件
がんセンター	371 件	750 件	がんセンター	371 件	750 件	がんセンター	371 件	750 件
循環器呼吸器病センター	732 件	750 件	循環器呼吸器病センター	732 件	750 件	循環器呼吸器病センター	732 件	750 件
計	1,642 件	2,900 件	計	1,642 件	2,780 件	計	1,642 件	2,780 件
※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。			※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。			※入院時支援加算算定件数。同加算算定対象外の精神医療センターは目標を設定しない。		
（3）災害時の医療提供			（3）災害時の医療提供			（3）災害時の医療提供		
<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建 			<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建 			<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時には、各病院において状況に応じた医療救護活動等を迅速かつ適切に行う。 災害発生に備え、医薬品等の備蓄や設備・建 		

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>物の定期的な点検・整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるよう、BCP（事業継続計画）について、すでに整備済みの足柄上病院を除いて、全所属で整備する。 足柄上病院は、災害拠点病院及び神奈川DMA T指定病院としての体制を充実強化する。（再掲） こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。 <p>（４）感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底する。 新型インフルエンザなどの新たな感染症や結核等の再興感染症に対しては、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を生かした取組みを推進する。 <p>[目標値] 手指消毒剤使用割合</p>	<p>物の定期的な点検・整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるよう、BCP（事業継続計画）について、すでに整備済みの足柄上病院及び精神医療センターを除いて、全所属で整備に取り組む。 足柄上病院は、神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。（再掲） こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。 精神医療センターは、災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。<u>（再掲）</u> <p>（４）感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底する。 新たな感染症や結核等の再興感染症に対しては、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を生かした取組みを推進する。 感染防止対策会議で、感染症対策や多剤耐性菌に係る情報共有とともに、手指衛生の実践状況の調査や手指消毒剤の積極的な活用を図ることにより、感染防止の徹底に努める。 <p>[目標値] 手指消毒剤使用割合</p>	<p>物の定期的な点検・整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害発生時などにおいても継続的に医療を提供することができるよう、BCP（事業継続計画）について、すでに整備済みの足柄上病院を除いて、全所属で整備に取り組む。 足柄上病院は、神奈川DMA T指定病院として、大規模災害が発生した場合には、速やかに足柄上病院DMA Tを被災地に派遣し、医療支援活動を行う。（再掲） こども医療センター及び精神医療センターは、DPAT活動に対する協力を継続する。 精神医療センターは、災害拠点精神科病院として、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う。 <p>（４）感染症医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策として、標準的な予防策及び発生時の初期対応を徹底する。 <u>新型インフルエンザなどの</u>新たな感染症や結核等の再興感染症に対しては、関係機関と連携しながら、各病院の機能及び特性を生かした取組みを推進する。 感染防止対策会議で、感染症対策や多剤耐性菌に係る情報共有とともに、手指衛生の実践状況の調査結果について比較及び分析を行い、改善を図る。また、手指消毒剤の積極的な活用を図り、感染防止の徹底に努める。 <p>[目標値] 手指消毒剤使用割合</p>

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	病院名	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
足柄上病院	9.6 ml	17.1 ml	足柄上病院	9.6 ml	11.1 ml	足柄上病院	9.6 ml	11.1 ml
こども医療センター	19.1 ml	28.0 ml	こども医療センター	19.1 ml	20.0 ml	こども医療センター	19.1 ml	20.0 ml
精神医療センター	1.6 ml	5.0 ml	精神医療センター	1.6 ml	1.8 ml	精神医療センター	1.6 ml	1.8 ml
がんセンター	9.1 ml	12.0 ml	がんセンター	9.1 ml	11.0 ml	がんセンター	9.1 ml	11.0 ml
循環器呼吸器病センター	9.7 ml	20.0 ml	循環器呼吸器病センター	9.7 ml	12.0 ml	循環器呼吸器病センター	9.7 ml	12.0 ml

※手指消毒剤払出量（ml）／延入院患者数で算出。患者一人当たり一日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している 1 日の使用量の目安は延患者 1,000 人当たり 20 リットル。

（5）第三者評価の活用
病院機能評価の認定を受けている病院については、病院機能評価の活用を図る。それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。

4 県の施策との連携
（1）県の施策との連携・協働
神奈川県が推進する保健医療施策等の諸施策について、県と連携して取り組む。

※手指消毒剤払出量（ml）／延入院患者数で算出。患者一人当たり一日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している 1 日の使用量の目安は延患者 1,000 人当たり 20 リットル。

（5）第三者評価の活用
病院機能評価の認定を受けているこども医療センター及びがんセンターでは、病院機能評価の**評価結果を運営に反映させる**。それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。

4 県の施策との連携
（1）県の施策との連携・協働
・ 足柄上病院及び循環器呼吸器病センターにおいて、神奈川県が推進する未病コンディショニングセンターの**機能を実証する**事業に寄与する専門外来を設置し、生活処方箋の策定、個別指導等を行う。
・ こども医療センターにおいて、低出生体重

※手指消毒剤払出量（ml）／延入院患者数で算出。患者一人当たり一日の手指消毒剤使用量。WHO（世界保健機関）が提示している 1 日の使用量の目安は延患者 1,000 人当たり 20 リットル。

（5）第三者評価の活用
病院機能評価の認定を受けているこども医療センター及びがんセンターについては、病院機能評価の**活用を図る**。それ以外の病院については、病院の取組状況を客観的に評価する制度の活用について検討を行う。

4 県の施策との連携
（1）県の施策との連携・協働
・ 足柄上病院及び循環器呼吸器病センターにおいて、神奈川県が推進する未病コンディショニングセンター**制度化に関する**事業に寄与する専門外来を設置し、生活処方箋の策定、個別指導等を**実証する**。
・ こども医療センターにおいて、低出生体重

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<p>（２）将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 足柄上病院及び循環器呼吸器病センターについては、外部有識者や地域の関係機関などの参画を得て、引き続き、地域における病院の機能や役割、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。 <p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。</p> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p>	<p>児の発達記録を管理するアプリケーションとマイME・BYOカルテの連携構築に係る実証実験を行う。</p> <p>（２）将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 足柄上病院については、地元自治体や医療関係者などの参画を得て、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。 循環器呼吸器病センターについては、外部有識者の意見を踏まえながら、地域における病院の機能や役割について検討を行う。 <p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。<u>また、内部統制・コンプライアンス室の体制を強化し、これらの取組みを推進する。</u></p> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p>	<p>児の発達記録を管理するアプリケーションとマイME・BYOカルテの連携構築に係る実証実験を行う。</p> <p>（２）将来に向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想の実現への貢献や地域包括ケアシステムの推進への支援、医療ニーズの変化に対応するため、国等の動向に留意しながら、各病院の機能や地域における役割について、継続的に検討を行う。 足柄上病院については、地元自治体や医療関係者などの参画を得て、地域の医療機関との機能分担や連携等について検討を行う。 循環器呼吸器病センターについては、外部有識者の意見を踏まえながら、地域における病院の機能や役割について検討を行う。 <p>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 適正な業務の確保</p> <p>法令等を遵守しつつ業務の適正を確保するため、内部統制委員会や契約監視委員会の開催など、内部統制に取り組むとともに、コンプライアンス委員会の開催や、各所属における職員向け相談窓口の運営など、コンプライアンス推進に係る取組みを着実に実施する。<u>こうした取組みを着実に実施するため、内部統制・コンプライアンス室の体制を強化する。</u></p> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p>

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点																			
<ul style="list-style-type: none"> 医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じて、高度・専門医療を提供していくため、医療機器等については、経営改善により財源を確保し、計画的に整備を進めていく。 特に、高額医療機器の購入にあたっては、機器ごとに稼働件数の目標値を設定し、定期的に目標達成状況の検証を実施する。 事務部門を中心に、ICTなどの最先端技術を活用した業務改善を行い、法人運営の効率化を図る。 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図る。 こども医療センターとがんセンターの連携による、小児がん患者への重粒子線治療の提供や、こども医療センターと精神医療センターの連携による思春期医療の提供など、各病院が連携して適切な医療を提供する。 効果的・効率的な運営を図るため、各病院間で、患者の画像共有ができるような体制の整備や医療機器を共同で利用することについて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高度・専門医療を提供していくため、老朽化した医療機器の更新を計画的に進めるとともに、稼働件数の目標値を設定し、定期的に達成状況を<u>検証</u>する。 <u>ICTを活用して各病院の事務系ネットワーク</u>を統合するなど、利便性の高い<u>安全で安心な</u>システム環境の構築を目指し、本部事務局及び各病院が<u>協同</u>して検討を行う。 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図るための仕組みづくりを検討する。 小児がん重粒子線治療運営協議会を継続して開催するなど、安全かつ円滑な<u>小児がん患者への重粒子線治療の導入</u>に向けてこども医療センターとがんセンターが<u>連携</u>する。 こども医療センターと精神医療センターが連携し、患者の成長段階に合わせた切れ目のない思春期医療を提供する。 固定資産の効果的・効率的な活用を図るため、各病院間で連携し、医療機器の共同利用や遊休資産の利活用を推進する。 <p>[目標値] 高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高度・専門医療を提供していくため、老朽化した医療機器の更新を計画的に進めるとともに、稼働件数の目標値を設定し、定期的に<u>目標</u>達成状況の<u>検証</u>を<u>実施</u>する。 各病院が<u>独自に導入している</u>業務系ネットワークを統合するなど、利便性の高いセキュアなシステム環境の構築を目指し、本部事務局及び各病院が<u>協働</u>して検討を行う。 各病院の医師が他の県立病院の診療を支援し、治療件数の増加を図るための仕組みづくりを検討する。 <u>小児がん患者への重粒子線治療について</u>、小児がん重粒子線治療運営協議会を継続して開催するなど、安全かつ円滑な治療に向けてこども医療センターとがんセンターの<u>連携強化</u>を図る。 こども医療センターと精神医療センターが連携し、患者の成長段階に合わせた切れ目のない思春期医療を提供する。 固定資産の効果的・効率的な活用を図るため、各病院間で連携し、医療機器の共同利用や遊休資産の利活用を推進する。 <p>[目標値] 高額医療機器（1億円以上のもの）の稼働状況件数</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>高額医療機器</th> <th>令和2年 目標値</th> <th>(参考 令和3 年度目</th> <th>更新予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	高額医療機器	令和2年 目標値	(参考 令和3 年度目	更新予定						<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>高額医療機器</th> <th>令和2年 目標値</th> <th>(参考 令和3 年度目</th> <th>更新予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院名	高額医療機器	令和2年 目標値	(参考 令和3 年度目	更新予定					
病院名	高額医療機器	令和2年 目標値	(参考 令和3 年度目	更新予定																	
病院名	高額医療機器	令和2年 目標値	(参考 令和3 年度目	更新予定																	

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）					令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点				
			標値					標値		
	足柄上 病院	全身用 コンピ ュータ 断層撮 影装置	6,313 件	12,625 件	令和2 年10月	足柄上 病院	全身用 コンピ ュータ 断層撮 影装置	6,313 件	12,625 件	令和2 年10月
	がんセ ンター	PET / CT装置	1,815 件	3,645 件	令和2 年10月	がんセ ンター	PET / CT装置	1,815 件	3,645 件	令和2 年10月
	循環器 呼吸器 病セン ター	X線血 管撮影 診断装 置	525件	1,050 件	令和2 年10月	循環器 呼吸器 病セン ター	X線血 管撮影 診断装 置	525件	1,050 件	令和2 年10月
<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営基盤の安定化を目指し、収益を最大化するとともに、収入の範囲内で質の高い医療を提供するため、計画的に病院経営を進める。 各病院の特性に応じた施設基準等を適時に取得するとともに、病床を効率的に運用することで計画の収益目標を確実に達成するため、経営分析機能を強化し、経営改善に向けた取組みを推進する。 KPI（重要業績評価指標）を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 KPIを用いた定期的なモニタリングを通じて、業績に応じた人員体制の見直しや、委託料の削減等を進めることで、収益の範囲で費用の適正化を図る。 	<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度診療報酬改定に速やかに対応し、各病院の特性に応じた施設基準を届け出るとともに、病床の効率的な運用に努める。 経営分析機能を強化し、経営改善に向けた取組みを推進するため、本部事務局に経営管理室を設置する。 KPI（重要業績評価指標）を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 ＜KPI（重要業績評価指標）＞ 新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、給与費等負荷率 					<p>3 収益の確保及び費用の節減</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度診療報酬改定にすみやかに対応し、各病院の特性に応じた施設基準を取得するとともに、病床の効率的な運用に努める。 経営分析機能を強化し、経営改善に向けた取組みを推進するため、令和2年度から本部事務局内に経営管理室を設置する。 KPI（重要業績評価指標）を用いた数値目標管理の手法を取り入れ、マネジメント層が協同して計画の進捗管理を行う。 ＜KPI（重要業績評価指標）＞ 新入院患者数、病床稼働率、平均在院日数、給与費等負荷率 				

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点																																																																																						
<ul style="list-style-type: none"> 特に、医事事務委託については、チェック体制の強化や専門人材の育成等の観点から、職員配置と合わせて見直しを検討する。 共同購入対象品目の拡大や後発医薬品の積極的な導入等の取組みにより、費用削減を進める。 経営分析機能を強化し、診療報酬請求漏れの防止や、未収金の滞納発生防止及び早期回収の取組みを推進する。 診療報酬によらない料金については、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し、適時・適切な改定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬請求漏れ等のチェック体制の強化や専門人材の育成等の観点から、医事事務委託業務の直営化に向けた検討を行う。また、円滑に業務が実施されるよう、適切な職員配置を行う。 共同購入対象品目の拡大や後発医薬品の積極的な導入により、費用削減に努める。 民法改正に<u>速やか</u>に対応し、未収金の発生防止や早期回収に向けた運用の見直しを行う。 診療報酬によらない料金について、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し適切な改定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬請求漏れ等のチェック体制の強化や専門人材の育成等の観点から、医事事務委託業務の直営化に向けた検討を行う。また、円滑に業務が実施されるよう、<u>人事異動を含めた</u>適切な職員配置を行う。 共同購入対象品目の拡大や後発医薬品の積極的な導入により、費用削減に努める。 民法改正に<u>すみやか</u>に対応し、未収金の発生防止や早期回収に向けた<u>運用</u>の見直しを行う。 診療報酬によらない料金について、患者負担や周辺類似施設との均衡を考慮し適切な改定を行う。 																																																																																						
[目標値]	[目標値]	[目標値]																																																																																						
新入院患者数	平成 30 年度実績値	平成 30 年度実績値																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 6 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>5,412 人</td> <td>5,420 人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,071 人</td> <td>7,940 人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,156 人</td> <td>1,350 人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>11,478 人</td> <td>12,130 人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>5,086 人</td> <td>5,090 人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	足柄上病院	5,412 人	5,420 人	こども医療センター	7,071 人	7,940 人	精神医療センター	1,156 人	1,350 人	がんセンター	11,478 人	12,130 人	循環器呼吸器病センター	5,086 人	5,090 人	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="4">平成 30 年度実績値</th> </tr> <tr> <th>新入院患者数</th> <th>病床稼働率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>5,412 人</td> <td>83.8%</td> <td>14.9 日</td> <td>48,203 円</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,071 人</td> <td>79.7%</td> <td>13.5 日</td> <td>91,871 円</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,156 人</td> <td>91.3%</td> <td>92.7 日</td> <td>24,747 円</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>11,478 人</td> <td>86.5%</td> <td>11.4 日</td> <td>73,295 円</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>5,086 人</td> <td>83.3%</td> <td>13.1 日</td> <td>59,034 円</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値				新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	足柄上病院	5,412 人	83.8%	14.9 日	48,203 円	こども医療センター	7,071 人	79.7%	13.5 日	91,871 円	精神医療センター	1,156 人	91.3%	92.7 日	24,747 円	がんセンター	11,478 人	86.5%	11.4 日	73,295 円	循環器呼吸器病センター	5,086 人	83.3%	13.1 日	59,034 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病院名</th> <th colspan="4">平成 30 年度実績値</th> </tr> <tr> <th>新入院患者数</th> <th>病床稼働率</th> <th>平均在院日数</th> <th>入院単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>5,412 人</td> <td>83.8%</td> <td>14.9 日</td> <td>48,203 円</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,071 人</td> <td>79.7%</td> <td>13.5 日</td> <td>91,871 円</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,156 人</td> <td>91.3%</td> <td>92.7 日</td> <td>24,747 円</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>11,478 人</td> <td>86.5%</td> <td>11.4 日</td> <td>73,295 円</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>5,086 人</td> <td>83.3%</td> <td>13.1 日</td> <td>59,034 円</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値				新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価	足柄上病院	5,412 人	83.8%	14.9 日	48,203 円	こども医療センター	7,071 人	79.7%	13.5 日	91,871 円	精神医療センター	1,156 人	91.3%	92.7 日	24,747 円	がんセンター	11,478 人	86.5%	11.4 日	73,295 円	循環器呼吸器病センター	5,086 人	83.3%	13.1 日	59,034 円
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値																																																																																						
足柄上病院	5,412 人	5,420 人																																																																																						
こども医療センター	7,071 人	7,940 人																																																																																						
精神医療センター	1,156 人	1,350 人																																																																																						
がんセンター	11,478 人	12,130 人																																																																																						
循環器呼吸器病センター	5,086 人	5,090 人																																																																																						
病院名	平成 30 年度実績値																																																																																							
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価																																																																																				
足柄上病院	5,412 人	83.8%	14.9 日	48,203 円																																																																																				
こども医療センター	7,071 人	79.7%	13.5 日	91,871 円																																																																																				
精神医療センター	1,156 人	91.3%	92.7 日	24,747 円																																																																																				
がんセンター	11,478 人	86.5%	11.4 日	73,295 円																																																																																				
循環器呼吸器病センター	5,086 人	83.3%	13.1 日	59,034 円																																																																																				
病院名	平成 30 年度実績値																																																																																							
	新入院患者数	病床稼働率	平均在院日数	入院単価																																																																																				
足柄上病院	5,412 人	83.8%	14.9 日	48,203 円																																																																																				
こども医療センター	7,071 人	79.7%	13.5 日	91,871 円																																																																																				
精神医療センター	1,156 人	91.3%	92.7 日	24,747 円																																																																																				
がんセンター	11,478 人	86.5%	11.4 日	73,295 円																																																																																				
循環器呼吸器病センター	5,086 人	83.3%	13.1 日	59,034 円																																																																																				
※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。																																																																																								
病床稼働率																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>平成 30 年度実績値</th> <th>令和 6 年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足柄上病院</td> <td>5,412 人</td> <td>5,420 人</td> </tr> <tr> <td>こども医療センター</td> <td>7,071 人</td> <td>7,940 人</td> </tr> <tr> <td>精神医療センター</td> <td>1,156 人</td> <td>1,350 人</td> </tr> <tr> <td>がんセンター</td> <td>11,478 人</td> <td>12,130 人</td> </tr> <tr> <td>循環器呼吸器病センター</td> <td>5,086 人</td> <td>5,090 人</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	足柄上病院	5,412 人	5,420 人	こども医療センター	7,071 人	7,940 人	精神医療センター	1,156 人	1,350 人	がんセンター	11,478 人	12,130 人	循環器呼吸器病センター	5,086 人	5,090 人																																																																						
病院名	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値																																																																																						
足柄上病院	5,412 人	5,420 人																																																																																						
こども医療センター	7,071 人	7,940 人																																																																																						
精神医療センター	1,156 人	1,350 人																																																																																						
がんセンター	11,478 人	12,130 人																																																																																						
循環器呼吸器病センター	5,086 人	5,090 人																																																																																						

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）				令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点						
足柄上病院	83.8%	84.0%	病院名	平成30年度実績 値		入院単 価	病院名	令和2年度目標値					
こども医療センター	79.7%	85.4%		外来延 患者数	外来単 価			新入院 患者数	病床稼 働率	平均在 院日数	入院単 価		
精神医療センター	91.3%	92.2%		足柄上 病院	123,589 人			10,739 円	足柄上 病院	5,420 人	84.0%	14.7 日	48,500 円
がんセンター	86.5%	91.0%		こども 医療セン ター	172,690 人			16,177 円	こども 医療セン ター	7,860 人	85.3%	13.6 日	93,869 円
循環器呼吸器病センタ ー	83.3%	82.8%		精神医 療センタ ー	58,822 人			7,321 円	精神医 療センタ ー	1,200 人	92.2%	81.0 日	25,094 円
				がんセン ター	237,952 人			31,812 円	がんセン ター	12,130	91.0%	11.4 日	73,275
※こども医療センターの数値は福祉施設を除いたもの。			循環器 呼吸器 病センタ ー	95,217 人	23,858 円	循環器 呼吸器 病センタ ー	12,130	91.0%	11.4 日	73,275			

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点			令和2年度年度計画（案）					令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点						
			ター	人			円	ター	人			円		
			循環器 呼吸器 病センター	5,090 人	82.8%	13.0日	63,042 円	循環器 呼吸器 病センター	5,090 人	82.8%	13.0日	63,042 円		
			<u>令和2年度目標値</u>											
			<u>病院名</u>	<u>外来延 患者数</u>	<u>外来単 価</u>									
			<u>足柄上 病院</u>	<u>116,000 人</u>	<u>12,370 円</u>									
			<u>こども 医療セン ター</u>	<u>175,286 人</u>	<u>17,065 円</u>									
			<u>精神医 療センタ ー</u>	<u>64,692 人</u>	<u>7,507 円</u>									
			<u>がんセン ター</u>	<u>247,128 人</u>	<u>34,292 円</u>									
			<u>循環器 呼吸器 病センタ ー</u>	<u>99,144 人</u>	<u>26,843 円</u>									
区分	平成30 年度実績 値	令和6年 度目標値	区分	平成30 年度実績 値	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績 値	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績 値	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績 値	令和2年 度目標値
給与費等負荷率	106.1%	98.1%	給与費等負荷率	106.1%	100.0%	給与費等負荷率	106.1%	100.0%	給与費等負荷率	106.1%	100.0%	給与費等負荷率	106.1%	100.0%
※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)			※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)			※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)			※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)			※給与費等負荷率 = (給与費 + 委託料) / (医業収益 - 材料費)		
区分	平成30 年度実績	令和6年 度目標値	区分	平成30 年度実績	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績	令和2年 度目標値	区分	平成30 年度実績	令和2年 度目標値

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）					令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点				
	値			値				値				
後発医薬品採用率（数量ベース）	80.6%	80.0%	後発医薬品採用率（数量ベース）	80.6%	80.0%	後発医薬品採用率（数量ベース）	80.6%	80.0%	80.0%			
			区分	平成 30 年度実績			令和 2 年度目標値					
			未収金の回収率	平成 29 年度発生額	平成 30 年度回収額	回収率	回収率	未収金の回収率	平成 29 年度発生額	平成 30 年度回収額	回収率	回収率
				160,396 千円	145,752 千円	90.9%	91.0%		160,396 千円	145,752 千円	90.9%	91.0%
			※平成 29 年度発生額及び平成 30 年度回収額には平成 30 年 3 月末日付入院料請求分を含む。					※平成 29 年度発生額及び平成 30 年度回収額には平成 30 年 3 月末日付入院料請求分を含む。				
第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置			第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置				
前項で定めた計画を確実に実施するため、経営改善アクションプランを定め、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。			計画を確実に実施するため、経営改善アクションプランを定め、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。					計画を確実に実施するため、経営改善アクションプランを定め、業務運営の改善及び効率化を進め、安定した経営基盤を確立する。				
<経営目標>			[目標値]					[目標値]				
・第三期中期計画期間の最終年度には、病院機構全体の経常収支比率 ^{※1} を 100%以上とする。			区分	平成 30 年度実績値			令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値			令和 2 年度目標値
・第三期中期計画期間を累計し、医業収支比率 ^{※2} を 86.8%以上とする。			経常収支比率	95.8%			99.0%	経常収支比率	95.8%			99.0%
・各年度において資金収支の均衡を達成する。			医業収支比率	81.7%			85.7%	医業収支比率	81.7%			85.7%
・第三期中期計画期間内に、繰越欠損金を縮減			資金収支	+710,184 千円			+790,397 千円	資金収支	+710,184 千円			+790,397 千円
			有利子長	50,188,892 千円			45,757,146 千円	有利子長	50,188,892 千円			45,757,146 千円

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点
<p>する。</p> <p>※ 1 経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) / (営業費用 + 営業外費用)</p> <p>※ 2 医業収支比率 = 医業収益 / 医業費用</p> <p>1 予算（人件費の見積りを含む。）（令和 2 年度～令和 6 年度） （省略）</p> <p>2 収支計画（令和 2 年度～令和 6 年度） （省略）</p> <p>3 資金計画（令和 2 年度～令和 6 年度） （省略）</p> <p>第 5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000 百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p> <p>第 6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし</p> <p>第 7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし</p>	<p>期負債</p> <p>1 予算（人件費の見積りを含む。）（令和 2 年度） （省略）</p> <p>2 収支計画（令和 2 年度） （省略）</p> <p>3 資金計画（令和 2 年度） （省略）</p> <p>第 5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000 百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p> <p>第 6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし</p> <p>第 7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし</p>	<p>期負債</p> <p>1 予算（人件費の見積りを含む。）（令和 2 年度） （省略）</p> <p>2 収支計画（令和 2 年度） （省略）</p> <p>3 資金計画（令和 2 年度） （省略）</p> <p>第 5 短期借入金の限度額</p> <p>1 限度額 3,000 百万円</p> <p>2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応</p> <p>第 6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし</p> <p>第 7 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 なし</p>

第三期中期計画、令和2年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和2年1月28日理事会議決時点	令和2年度年度計画（案）	令和2年度年度計画（素案） ※令和2年2月25日理事会報告時点
<p>第8 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p> <p>第9 料金に関する事項</p> <p>1 診療料等 （省略）</p> <p>2 その他の料金 （省略）</p> <p>3 還付 既納の診療料等及びその他の料金は、還付しない。ただし、理事長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。</p> <p>4 減免 理事長は、診療料等及びその他の料金の納付について、特別の理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。</p> <p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療を提供するため、医療人材の確保に努めるとともに、職員の増員に際しては、費用対効果の観点から十分に検証するなど、適正な人員配置に努める。 	<p>第8 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p> <p>第9 料金に関する事項 令和2年度において次の料金について新たに改正を行う。 ≪料金表を掲載≫</p> <p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画 【人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療の提供や医療ニーズの変化に対応するため、任期付職員や非常勤職員等の雇用を含めた医師の人材確保を進めるなど、必要な人員配置に努める。 厳しい経営状況に鑑み、増員については、原則抑制するものとするが、費用を上回る収益が確実に見込まれる場合等は増員効果を十分に検証しながら個別に判断し、適正な人員配置に努め 	<p>第8 剰余金の使途 決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入に充てる。</p> <p>第9 料金に関する事項 令和2年度において次の料金について新たに改正を行う。 ≪料金表を掲載≫</p> <p>第10 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 人事に関する計画 【人員配置】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い医療の提供や医療ニーズの変化への対応を図るため、任期付職員や非常勤職員等の雇用を含めた医師の人材確保を進めるなど、必要な人員配置に努める。 厳しい経営状況に鑑み、増員については、原則抑制するものとするが、新たに発生する人件費を上回る収益が確実に見込まれ、当該費用と同額以上を既存の人件費から削減する場合等は、

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） <small>※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点</small>	令和 2 年度年度計画（案）	令和 2 年度年度計画（素案） <small>※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点</small>
<ul style="list-style-type: none"> 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 関係職種間での適切な役割分担、多職種が参加するカンファレンスの実施などのチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を上げる取組みを進める。 職員を表彰する制度により、職員の業務改善に向けた意識の醸成を図るとともに、職員の提案を病院運営に反映させる。 働き方改革の取組みを推進するため、仕事のやり方の見直し、タスクシフトの推進など、業務の効率化を徹底するとともに、職員の業務に対する意識啓発に取り組み、職員がより働きやすい環境を整えていく。また、医師については、病院運営に影響が生じないよう、国等の動向を踏まえながら検討していく。 法人の経営状況や社会情勢等を踏まえつつ、国や都道府県、病院運営を行う独立行政法人等 	<p>ていく。</p> <p>【やりがい・情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 関係職種間での適切な役割分担、多職種が参加するカンファレンスの実施などのチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を<u>向上させる</u>取組みを進める。 職員の業務の運営に関する顕著な功績や推奨すべき業績に対して、<u>表彰</u>を実施することにより、職員のやりがいを高める。 年間を<u>通して</u>、業務や経営改善などにつながる職員提案を受け入れるとともに、課題となっているテーマに対する提案も適宜受け入れ、実現化に向けた検討を行う。 <p>【働き方・人事・給与制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間等に係るガイドラインを作成し、労働時間の適正管理や業務の改善等に努め、職員の長時間労働防止や健康維持・増進を図り、これらを徹底することにより、時間外勤務の縮減を進める。 医師の働き方について、各病院の医師を含む幹部職員等で構成した検討会において、国等の動向を注視しつつ検討を進める。 国や都道府県、病院運営を行う独立行政法人等の人事・給与制度に係る情報収集を行うとと 	<p><u>増員できるものとし</u>、適正な人員配置に努めていく。</p> <p>【やりがい・情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> 所属長による情報共有の機会を設けるとともに、理事長等による職員との意見交換会を実施し、コミュニケーションの促進に努める。 関係職種間での適切な役割分担、多職種が参加するカンファレンスの実施などのチーム医療を推進し、働きやすい環境を整備しながら、職員のやりがいを高め、患者サービスや医療の質を上げる取組みを進める。 職員の業務の運営に関する顕著な功績や推奨すべき業績に対して<u>職員</u>表彰を実施することにより、職員のやりがいを高める。 年間を<u>とおして</u>、業務や経営改善などにつながる職員提案を受け入れるとともに、課題となっているテーマに対する提案も適宜受け入れ、実現化に向けた検討を行う <p>【働き方・人事・給与制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務時間等に係るガイドラインを作成し、労働時間の適正管理や業務の改善等に努め、職員の長時間労働防止や健康維持・増進を図り、これらを徹底することにより、時間外勤務の縮減を進める。 医師の働き方について、各病院の医師を含む幹部職員等で構成した検討会において、国等の動向を注視しつつ検討を進める。 国や都道府県、病院運営を行う独立行政法人等の人事・給与制度に係る情報収集を行うとと

第三期中期計画、令和 2 年度年度計画（案）対比表

第三期中期計画（案） ※令和 2 年 1 月 28 日理事会議決時点			令和 2 年度年度計画（案）			令和 2 年度年度計画（素案） ※令和 2 年 2 月 25 日理事会報告時点		
に係る情報収集を進め、適正な人事・給与制度に向けた検討を行う。			もに、目標達成に向けた職員の努力や創意工夫に報いる仕組みなども含め、適正な人事・給与制度の検討を進める。			もに、目標達成に向けた職員の努力や創意工夫に報いる仕組みなども含め、適正な人事・給与制度の検討を進める。		
[目標値]			[目標値]			[目標値]		
区分	平成 30 年度実績値	令和 6 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値	区分	平成 30 年度実績値	令和 2 年度目標値
看護師の離職率	8.1%	9.0%	看護師の離職率	8.1%	9.0%	看護師の離職率	8.1%	9.0%
職員 1 人当たりの年次休暇取得日数	9.4 日	15.0 日	職員 1 人当たりの年次休暇取得日数	9.4 日	15.0 日	職員 1 人当たりの年次休暇取得日数	9.4 日	15.0 日
2 施設整備・修繕に係る計画の検討 各病院の施設について調査を実施し、老朽化の状況や経営状況等を総合的に勘案しながら、施設の長寿命化を含め、計画的に施設の整備・修繕を実施する。			2 施設整備・修繕に係る計画の検討 各病院の施設について調査を実施し、老朽化の状況や経営状況等を総合的に勘案しながら、長寿命化を含め、整備・修繕計画を策定する。			2 施設整備・修繕に係る計画の検討 ・ 各病院の施設について調査を実施し、老朽化の状況や経営状況等を総合的に勘案しながら、 <u>施設</u> の長寿命化を含め、 <u>施設</u> の整備・修繕の計画を策定する。		
3 長期借入金の限度額 総額 8,557 百万円			3 積立金の処分に関する計画 なし			3 積立金の処分に関する計画 なし		
4 積立金の処分に関する計画 なし								